

健康福祉学科教育課程

(令和5年度入学生に適用)

区分	授業科目	講義演習実習の別	単位数		担当教員名 ()内は非常勤講師	毎週授業時間数				資格取得に必要な科目										備考							
						1 学 年		2 学 年		介護職員初任者研修	社会福祉主事任用	ウオーキングトレーナー	介護福祉士受験	アクティビティワーカール	初級/中級/上級指導員	運動介護予防	福祉作業士	ケアマネージャー	日商PC検定		介護福祉経営士	社会福祉士編入					
						前	後	前	後																		
						必	選	必	選																		
健康	健康福祉論	講	1		小 椋	1																	8回				
	運動と健康	講	1		小 椋	1																		8回			
	健康スポーツ	演	1		小 椋	2																					
	アクティビティ概論	講		2	小 椋																						
人間と社会	人間の尊厳と自立	講		2	吉牟田				2																		
	現代社会と人間Ⅰ	講		1	担当教員	1																		8回			
	現代社会と人間Ⅱ	講		1	担当教員	1																		8回			
	コミュニケーション論	講	2		小 平	2																					
	チームマネジメントの基礎	講		2	小 平				2																		
	人間と情報	講	2		春 名	2																					
	情報処理演習Ⅰ	演	1		吉牟田	2																					
	情報処理演習Ⅱ	演	1		吉牟田				2																		
	ボランティア演習	演	1		関				2																		
外国語	英語	演	1		山西(ホズリー)	2																					
	キャンパス&ホームステイプログラム	演		2	山 田				2																		
小 計			12	10		14	2	4	2	0	4	0	2														
専門科目分野	介護福祉	介護福祉論Ⅰ	講	2		奥 野	2																				
		介護福祉論Ⅱ	講	2		関			2																		
		チームワークと多職種連携	講		2	井 上				2																	
		感染症予防とリスクマネジメント	講		2	(平 田)				2																	
		介護従事者の安全	講		2	(矢 後)				2																	
		介護予防論	講		2	小 椋				2																	
		コミュニケーション技術Ⅰ	演	1		関	2																				
		コミュニケーション技術Ⅱ	演	1		(定塚・山崎)	2																				
		生活支援技術Ⅰ	演	2		井 上	4																				
		生活支援技術Ⅱ	演	2		井 上				4																	
		生活支援技術Ⅲ	演		2	中島・(松島)				4																	
		生活支援技術Ⅳ	実	1		(大掛)・(川端)				3																	
		生活支援技術Ⅴ	実		1	井上・奥野				3																	
		生活支援技術Ⅵ	演		1	奥 野				2																	
		介護過程Ⅰ	演	1		井 上	2																				
		介護過程Ⅱ	演		1	井 上				2																	
		介護過程Ⅲ	演		2	奥 野				4																	
		介護過程Ⅳ	演		1	奥 野				2																	
		実習指導Ⅰ	演	1		井上・中島・関・小椋・奥野	2																				
		実習指導Ⅱ	演	1		井上・中島・関・小椋・奥野				2																	
		実習指導Ⅲ	演	1		奥野・中島・関・小椋・井上				2																	
		実習指導Ⅳ	演	1		奥野・中島・関・小椋・井上				2																	
		基礎実習Ⅰ-1	実	1		井上・中島・関・小椋・奥野	*																				
基礎実習Ⅰ-2	実	1		井上・中島・関・小椋・奥野				*																			
介護計画実習	実		3	井上・中島・関・小椋・奥野				*																			
介護過程実習	実		3	奥野・中島・関・小椋・井上				*																			
総合実習	実		2	奥野・中島・関・小椋・井上				*																			
こころからの学び	こころからの学びⅠ	講	2		中島(白井)	2																					
	こころからの学びⅡ	講	2		(白 井)	2																					
	こころからの学びⅢ	講		2	(白 井)				2																		
	こころからの学びⅣ	講		2	(白 井)				2																		
	発達と老化の理解Ⅰ	講	2		(谷)	2																					
	発達と老化の理解Ⅱ	講	2		(山 本)				2																		
	認知症ケア論Ⅰ	講	2		中島(白井)				2																		
	認知症ケア論Ⅱ	講	2		井上(松島)				2																		
	障害者ケア論Ⅰ	講	2		中 島	2																					
	障害者ケア論Ⅱ	講	2		中 島				2																		
医療的ケア	医療的ケアⅠ	講		4	中島・松居				4																		
	医療的ケアⅡ	演		1	中島・松居				4																		

区分	授業科目	講義演習実習の別	単位数		担当教員名 ()内は 非常勤講師	毎週授業時間数				資格取得に必要な科目											備考						
						1 学 年		2 学 年		介護職員初任者研修	社会福祉士主任任用	社会福祉士受験	介護福祉士受験	ケアイビティ	初級バラスポート指導員	運動トレーナー	介護予防	福祉住環境	介護福祉士試験	日商PC検定		メディカルクラーク・ケアクラーク	メデイカルクラーク	介護福祉士	社会福祉士		
						前 期	後 期	前 期	後 期																		
						必 選	必 選	必 選	必 選																		
専 門 科 目	人間と社会 ソーシャルワーク分野	社会 保 障 論	講	2	小 平	2													○								
		高 齢 者 福 祉 論	講	2	関					2										○							
		障 害 者 福 祉 論	講	2	関					2										○							
		児 童 家 庭 福 祉 論	講	2	明 柴					2										○							
		地 域 福 祉 論 I	講	2	関						2									○							
		地 域 福 祉 論 II	講	2	関						2									○							
	福祉ビジネス分野	ソーシャルワークの理論と方法-1	講	2	(村 上)					2										○						○	科目履修
		ソーシャルワークの理論と方法-2	講	2	(村 上)						2									○						○	科目履修
		福 祉 ビ ジ ネ ス	講	1	小 平							1								○					◎		※福祉ビジネス分野選択者は全て履修すること 8回
		介 護 事 務 概 論	講	1	小 平					1										○					◎		8回
		介 護 事 務 演 習	演	1	(松 島)					2										○					◎		
		医 療 事 務 概 論	講	1	小 平						1									○					◎		8回
		医 療 事 務 演 習	演	1	(小 野)					2										○					◎		
介 護 福 祉 経 営 論	講	2	小 平							2								○					◎				
支援 キャリア	富山型福祉特別講義	講	2	吉 牟 田						2									○					◎			
	富山型福祉特別講義	講	1	小 平						1									○					◎		8回	
	イ ン タ ー ン シ ッ プ	演	1	小 平・吉 牟 田					*										○								
総合支援	介護福祉総合演習	演	1	吉牟田・専任全員							2								○								
	キャリアデザイン演習	演	1	小 平		2													○								
	総合支援 総 合 的 研 究	演	2	吉牟田・専任全員			2		2																		
	小 計		37	60		26	0	15	11	8	28	0	30														
	計		49	69		40	2	19	13	8	32	0	32														

◎必修科目 ○選択科目 (推奨)

授業科目名	介護従事者の安全			科目コード	W111-12				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	矢後 正乃					
実務経験	介護老人福祉施設、居宅介護サービスの経験をもとに、介護福祉士の資格取得に必要な基本知識を中心に、現場で通用する実践的な介護知識・技術を解説する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護福祉論 介護福祉論		後継科目						
関連科目	介護福祉分野								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格								
授業の概要	介護従事者のこころと身体の健康管理や労働環境の管理について学びます								
学習目標	介護従事者として心身共に健康に、介護を実践するための健康管理や労働環境の管理が理解できる								
キーワード	こころの健康管理 身体の健康管理 労働環境の管理								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座4 介護の基本 中央法規出版株式会社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護従事者として知っておくべき心身の健康や安全を守るための労働環境についての知識を十分に有している								
LO-2	自己の日常生活や実習に基づく体験から、心身の健康や安全を守るための予防対策の体験を聞き手(読み手)が追体験できるように描写することができる								
LO-3	自己の心身の健康や安全について、他者の経験や意見を自分事として捉え、グループワークでの意見を参考に自己を評価・分析することができる								
LO-4	自己分析を基に、より良い心身の健康や安全を守るための予防対策をとるために、今後自分は何をどうするのか行動計画を記述することができる								
LO-5	自己と異なる意見も多様性として尊重し、発表内容について質問し、受容、共感したことを表現できる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		15	75			10			100
LO-1		15							15
LO-2			15						15
LO-3			30						30
LO-4			30						30
LO-5						10			10
備考	発表内容、レポートについてコメントする グループワーク、プレゼンテーション、リフレクションを実施								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 働く人の健康や生活を守る法制度	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第2回	介護従事者の健康問題	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第3回	健康に働くための健康管理	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第4回	ストレスとこころの健康との関係	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第5回	介護従事者のこころの病気と管理方法	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第6回	各グループの発表と振り返り	
	【予習】グループ発表の準備	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第7回	介護従事者の身体の健康障害の現状と要因	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第8回	介護従事者の身体の健康管理	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第9回	介護従事者の身体の健康管理	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第10回	各グループの発表と振り返り	
	【予習】グループ発表の準備	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分

第11回	労働条件の整備 けがを防ぐための労働環境の予測	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第12回	けがを防ぐための労働環境の予測	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第13回	けがを防ぐための環境の改善	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第14回	けがを防ぐための環境の改善	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第15回	各グループの発表と振り返り	
	【予習】グループ発表の準備	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分

授業科目名	チームワークと多職種連携			科目コード	W111-13				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスにおいて、介護支援専門員・介護福祉士としての勤務経験と介護福祉士試験委員としての実績を基に、介護福祉士として必要な知識を、学生がさらに具体的に深めることができるよう授業を解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護福祉論 ・ 介護福祉論		後継科目						
関連科目	感染予防とリスクマネジメント 介護従事者の安全 介護予防論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護福祉を必要とする人の生活を支える仕組みと、 協働する多職種の機能と役割を学び、理解を深める。								
学習目標	生活を支えるフォーマルサービスとインフォーマルサービスを知り、概説できる 地域連携について、説明ができる 多職種連携・協働の必要性と求められる基本的な能力を概説できる 保健・医療・福祉職の役割と機能を学び、その実際を知り、説明することができる								
キーワード	多職種連携 協働 保健・医療・福祉職								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座 介護の基本 中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護福祉を必要とする人の生活を支えるしくみや他職種連携・協働の機能と役割を理解し、介護福祉士に必要なチームワークに関する正しい知識を身につけている								
LO-2	学修の成果をレポートにまとめる力を有する。								
LO-3	地域におけるサービスの仕組みの具体例を考え、他職種とのチームワークに関する提示された事例に活用する判断力を有する。								
LO-4	新聞やTVなどを通して地域や介護福祉に関連する職種に関する最新情報を自ら入手し、それらをチームケアの視点で生かす意欲や関心を有する。								
LO-5	生活を支えるさまざまなしくみや他職種とのチームワークが、利用者の尊厳を大切にした支援に結びつくことの重要性を理解する力を有する								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	30		70						100
LO-1	30								30
LO-2			10						10
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護福祉を必要とする人の生活を支える仕組み フォーマルサービス	
	【予習】テキストP48～P60まで読む	90分
	【復習】フォーマルサービスである介護保険サービスの特徴をまとめる	90分
第2回	介護福祉を必要とする人の生活を支える仕組み インフォーマルサービスと地域連携	
	【予習】テキストP61～P82まで読む	90分
	【復習】インフォーマルサービス、地域連携についての基本的知識をまとめる	90分
第3回	介護福祉を必要とする人の生活を支える仕組み 地域包括ケアシステムについて	
	【予習】他職種協働・連携を要請する社会の動きについて調べる	90分
	【復習】全国で展開された事例についてまとめる	90分
第4回	介護福祉を必要とする人の生活を支える仕組み 地域包括ケアシステムについて 発表	
	【予習】全国で展開された事例についてまとめる	90分
	【復習】他職種協働・連携を要請する社会の動きについて理解を深める	90分
第5回	保健・医療・福祉職の役割と機能 社会福祉士、介護支援専門員、医師、歯科医師、看護師、保健師、OT、PT、ST、栄養士、管理栄養士、公認心理士、薬剤師、サービス提供責任者について調べる グループワーク	
	【予習】社会福祉士、介護支援専門員など、保健・医療・福祉職の職種について調べる	90分
	【復習】福祉職の職種とサービスについて考える	90分
第6回	保健・医療・福祉職の役割と機能 社会福祉士、介護支援専門員、医師、歯科医師、看護師、保健師、OT、PT、ST、栄養士、管理栄養士、公認心理士、薬剤師、サービス提供責任者について調べる グループワーク	
	【予習】社会福祉士、介護支援専門員など、保健・医療・福祉職の職種について調べる	90分
	【復習】医療職とサービスについて考える	90分
第7回	保健・医療・福祉職の役割と機能 社会福祉士、介護支援専門員、医師、歯科医師、看護師、保健師、OT、PT、ST、栄養士、管理栄養士、公認心理士、薬剤師、サービス提供責任者についてプレゼンする グループ発表	
	【予習】発表を聴く人に伝わりやすいプレゼンテーション方法を考える	90分
	【復習】リハビリに関する職種とサービスについて考える	90分
第8回	保健・医療・福祉職の役割と機能 介護を必要とする人を支えるさまざまな職種についての確認とサービス連携	
	【予習】第7回でプレゼンテーションをした職種について理解を深める	90分
	【復習】介護を必要とする人を支える職種とチームについて考える	90分
第9回	介護実践の場で他職種協働・連携が求められる意義、多職種連携・協働を成功させるチームづくり	
	【予習】テキストP144～P162まで読む	90分
	【復習】他職種協働・連携を必要とする社会の動きを整理する	90分
第10回	【特別講義】多職種連携・協働を成功させるチーム作り	
	【予習】テキストP152～P162まで読む	90分
	【復習】他職種との協働・連携が必要な理由をまとめる	90分

第11回	【特別講義】多職種連携・協働に求められるコミュニケーション能力	
	【予習】テキストP163～P162まで読む	90分
	【復習】コミュニケーションスキルについてまとめる	90分
第12回	【特別講義】多職種連携・協働の実際	
	【予習】地域ケア会議について調べる	90分
	【復習】地域で生活する人を支えるチームケアの具体例を考える	90分
第13回	【特別講義】多職種連携・協働の実際	
	【予習】施設ケアに関わるチームについて調べる	90分
	【復習】施設におけるチームケアの事例を考える	90分
第14回	【特別講義】多職種連携・協働の実際	
	【予習】地域包括支援センターの役割を調べる	90分
	【復習】地域包括支援センターでの事例を考える	90分
第15回	まとめ	
	【予習】テキスト、資料をまとめる	90分
	【復習】試験に備えてポイントをまとめる	90分

授業科目名	感染症予防とリスクマネジメント			科目コード	W111-14				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	平田 洋介					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスにおいて、介護支援専門員・介護福祉士としての勤務経験と介護福祉士試験委員としての実績を基に、介護福祉士として必要な知識を、学生がさらに具体的に深めることができるよう授業を展開する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護福祉論 ・ 介護福祉論		後継科目						
関連科目	チームワークと他職種協働 介護従事者の安全 介護予防論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護におけるリスクマネジメントの必要性を理解するとともに、安全の確保のための基礎的な知識や事故への対応を学ぶ。								
学習目標	介護における安全の確保とリスクマネジメント、感染症対策を学び、理解する。								
キーワード	安全の確保 事故防止 安全対策 感染対策 ポリファーマシー								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座 介護の基本 中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	セーフティマネジメントの考え方を理解し、福祉サービスに求められる安心や安全、介護福祉士に必要な感染に関する正しい知識を十分に身につけている。								
LO-2	自己の日常生活や実習に基づく体験から安全対策や感染症対策の体験を聞き手（読み手）が追体験できるように描写することができる。								
LO-3	他者の体験や意見を自分事としてとらえ、グループワークでの意見を参考に自己を評価・分析することができる。								
LO-4	自己分析を基に、よりよい安全対策や感染症対策をとるために、自分は今日から何をどうするのか行動計画を記述することができる。								
LO-5	自己と異なる意見も多様性として尊重し、発表内容について質問したり、受容・共感したことを表現できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		16	75			9			100
LO-1		16							16
LO-2			15						15
LO-3			30						30
LO-4			30						30
LO-5						9			9
備考	発表内容、レポートにコメントする。 「右記のアクティブラーニングを授業で実施します：PBL、グループワーク、プレゼンテーション、リフレクション」								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション セーフティマネジメントの考え方	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第2回	自分のヒヤリとした場面をもとにセーフティマネジメントを考える	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】発表の準備	90分
第3回	各グループの発表と振り返り	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第4回	尊厳ある暮らしの継続のためのリスクマネジメント	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第5回	身体拘束について	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第6回	福祉サービスに求められる安全・安心	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第7回	予測する力	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第8回	予測する力	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第9回	各グループの発表と振り返り	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】発表の準備	90分
第10回	感染対策に必要な知識	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分

第11回	感染症対策	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第12回	事故防止・予防のための対策	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第13回	事故防止・予防のための対策	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分
第14回	各グループの発表と振り返り	
	【予習】テキストを読む	90分
	【復習】発表の準備	90分
第15回	まとめ	
	【予習】テキスト全体と、配布資料を振り返る	90分
	【復習】授業を振り返り、整理する	90分

授業科目名	介護予防論			科目コード	W111-15				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	小椋 一也					
実務経験	地域密着型通所介護施設による半日型・機能訓練特化型通所介護施設に5年間勤務した実務経験を通し、介護福祉士として従事する者に関わる運動・健康の分野について基礎から応用まで解説する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護福祉論 介護福祉論 高齢者福祉論		後継科目	なし					
関連科目	介護福祉論 認知症ケア論 生活支援技術 生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護予防運動トレーナー								
授業の概要	(1)高齢者の生活と運動、介護予防に関する基礎的な知識を学ぶ。 (2)福祉(介護福祉)職として、知見しとくべきリハビリテーション、健康支援・介護予防の考え方と基礎的知識を学ぶ。 (3)介護予防運動トレーナーに必要な理論を学ぶ。								
学習目標	(1)高齢者の健康と運動について介護予防と関連させて理解する。 (2)介護予防運動トレーナーに求められる諸理論を理解する。 (3)介護予防の展開プログラムについて理解します。 運動(CGT、体操等)、身体レクリエーション...等。								
キーワード	介護予防、機能訓練、健康支援、リハビリテーション								
テキスト・ 参考書等	介護予防運動トレーナー養成テキスト(改訂2版)、メディカル・フィットネス協会								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】対象となる施設利用者・地域で暮らす人々に、介護予防による運動・健康支援に必要な基礎理論について十分に理解している。								
LO-2	【技能】基礎となる理論を理解したうえで、介護予防における必要な運動の技能を有する。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】基礎となる理論を理解したうえで、体力の状況や身体的な変調に対する対応能力を備える。								
LO-4	【関心・意欲・態度】介護予防に必要な理論や技術力に対し、積極的に学ぼうとする興味や関心を有する。								
LO-5	【人間性・社会性】介護従事者として、対象者への社会的・身体的な配慮をしたうえで、介護予防による運動・健康支援への態度を養う。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		60				40			100
LO-1		60							60
LO-2						10			10
LO-3						10			10
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他 A については、個別・グループワークでの活動・課題の提出に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス 介護予防の重要性と背景、資格制度	
	【予習】シラバスをみておく	90分
	【復習】配布資料とテキストの範囲を読み直す	90分
第2回	リハビリテーション - 目的・体系と領域 -	
	【予習】興味のある関連項目について調べておく	90分
	【復習】ノートを整理しておく	90分
第3回	廃用症候群、老年症候群	
	【予習】興味のある関連項目について調べておく	90分
	【復習】配布資料、テキストを振り返る	90分
第4回	高齢者筋力向上トレーニングと転倒予防(1)	
	【予習】テキストで関連項目の範囲を読む	90分
	【復習】配布資料とテキストの範囲を読み直す	90分
第5回	高齢者筋力向上トレーニングと転倒予防(2)	
	【予習】前回の配布資料とテキストを読む	90分
	【復習】配布資料とテキストの範囲を読み直す	90分
第6回	高齢者筋力向上トレーニングと転倒予防(3)	
	【予習】前回の配布資料とテキストを読む	90分
	【復習】配布資料とテキストの範囲を読み直す	90分
第7回	健康行動科学	
	【予習】興味のある関連項目について調べておく	90分
	【復習】配布資料、テキストの範囲を読む	90分
第8回	低栄養予防理論	
	【予習】興味のある関連項目について調べておく	90分
	【復習】配布資料、テキストの範囲を読む	90分
第9回	まとめと小テスト	
	【予習】これまでの配布資料とテキストの範囲、練習問題を読んでおく	90分
	【復習】配布資料とテキストで振り返る	90分
第10回	介護予防におけるウォームアップ	
	【予習】興味のある関連項目について調べておく	90分
	【復習】配布資料、テキストを読んでおく	90分

第11回	介護予防における身体レクリエーション	
	【予習】興味のある関連項目について調べておく	90分
	【復習】配布資料、テキストを読んでおく	90分
第12回	ストレッチングとトレーニング(1) - 座位・つかまり立ち・立位 -	
	【予習】興味のある関連項目について調べておく	90分
	【復習】本時で気づいたことを中心に配布資料と教科書を読んでおく。	90分
第13回	ストレッチングとトレーニング(2) - プログラムと運動指導 -	
	【予習】興味のある関連項目について調べておく	90分
	【復習】本時で気づいたことを中心に配布資料と教科書を読んでおく。	90分
第14回	体力測定方法(1)	
	【予習】テキストを読んでおく	90分
	【復習】配布資料、テキストを読んでおく。	90分
第15回	体力測定方法(2) - 評価方法とまとめ -	
	【予習】前回の配布資料とテキストを読む	90分
	【復習】配布資料とテキストの範囲を読み直す	90分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-22				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	中島 眞由美 松島 紘子					
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉等）として保健所、保健福祉センター、長寿福祉課等に勤務し、相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	生活支援技術、生活支援技術、こころとからだのしくみ、障害者ケア論、障害者ケア		後継科目	生活支援技術					
関連科目	生活支援技術、介護福祉論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	障害・疾病の特性を理解し、適切な介護技術を用いて安全・安楽に援助できる知識や技術・倫理について習得する学習です。病気や障害によって生活のしづらさを抱えた利用者が望む暮らしに近づくための、よりよい支援を考え実践できる様に、グループでの活動を中心に、授業の聴講、個人ワーク、演習を通して学習します。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害や疾病のある人について、医学的・心理的側面から理解ができるように知識の習得をします 2. 病気や障害、利用者の状態や生活の状況等に応じた適切な介護技術を身につけます 3. 利用者の望む暮らしに向けた支援について介護福祉士の役割の理解と多職種連携のイメージを持ち、実践する事を学びます 								
キーワード	自立支援・エンパワメント・福祉用具の活用・ICF・障害特性・合理的配慮・意思決定支援								
テキスト・ 参考書等	生活支援技術 中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	利用者の疾病・障害に応じた、生活支援技術についての知識を身につけ、説明することができる。								
LO-2	利用者の疾病・障害の状態に応じた生活支援技術を学生同士の演習の中で実施する事ができる。								
LO-3	利用者の疾病・障害に応じた生活支援の方法をテキストやグループワークでの情報収集と分析により考える事ができる								
LO-4	利用者の疾病・障害について、テキスト以外にも調べる等の学ぶ意欲がある								
LO-5	疾病や障害がある方の望む暮らしやその思いを理解し、尊厳を大切に作る人間力を身につけている								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			45		25	5	25		100
LO-1			15				5		20
LO-2			5		15		5		25
LO-3			5		10		5		20
LO-4			5			5	5		15
LO-5			15				5		20
備考	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事例を通してグループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションを行い、全員で事例を深めていく 2. 実習室のみならず、学校内外の福祉の環境について目を向ける 3. 学生自身が課題を見つけ、その解決に向けて学びを深める 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1年の学習内容の再確認！	
	【予習】1年時に学習した移乗・移動に関する内容の確認を行う	45分
	【復習】学習の振り返り・学生同意意見交換を行う	45分
第2回	1年の学習内容の再確認！	
	【予習】シーツ交換についての確認を行う。	45分
	【復習】ウェビングマップ資料 ウェビングマップ資料を確認する。	45分
第3回	肢体不自由に応じた介護 移乗・移動の介助（一部介助、全介助を対象者の場合）	
	【予習】1年時の学習内容の確認・生活支援技術 p146 車椅子の介助、p99体位交換の介助の実際	45分
	【復習】小テスト解答の確認を行う	45分
第4回	肢体不自由に応じた介護 移乗・移動の介助（一部介助、全介助の対象者の場合）	
	【予習】前回授業の振り返り、テキスト確認。	45分
	【復習】小テスト解答	45分
第5回	肢体不自由に応じた介護 衣類の着脱	
	【予習】生活支援技術 テキスト p66衣服着脱介助の実際をみる	45分
	【復習】授業の振り返り、学生同士を意見交換	45分
第6回	肢体不自由に応じた介護 衣類の着脱	
	【予習】前回授業の振り返り	45分
	【復習】チェックリストの確認、復習を行う	45分
第7回	高次脳機能障害に応じた介護	
	【予習】テキスト p219～高次脳機能障害に応じた介護を読む	45分
	【復習】授業の振り返り	45分
第8回	高次脳機能障害に応じた介護	
	【予習】授業の振り返り	45分
	【復習】感想を記入する	45分
第9回	パーキンソン病に応じた介護	
	【予習】テキスト p262～264を読む	45分
	【復習】四大症状を覚える	45分
第10回	ALSに応じた介護	
	【予習】授業の振り返り	45分
	【復習】授業のまとめを記録する	45分

第11回	悪性リウマチに応じた介護	
	【予習】テキストP277～278を読む	45分
	【復習】テキストP277～279を読む、資料の確認	45分
第12回	筋ジストロフィーに応じた介護	
	【予習】テキストp293、レスパイトケアについて	0分
	【復習】授業の感想をまとめる、学生同士の意見交換	0分
第13回	重症心身障害に応じた介護	
	【予習】テキストp170障害の理解を読む	45分
	【復習】授業の振り返り振り返り、学生同士の意見交換	45分
第14回	事例に基づいた介護技術の展開	
	【予習】事前に出された課題を読んでおく	0分
	【復習】授業のまとめを記録する	0分
第15回	心臓機能障害・呼吸機能障害に応じた介護	
	【予習】テキストP75～P107までを読んでくる 障害の理解 の該当部分をみってくる	45分
	【復習】心臓機能障害・呼吸機能障害に応じた介護のポイントをまとめる	45分
第16回	心臓機能障害・呼吸機能障害に応じた介護	
	【予習】テキストP75～P107までを読んでくる 障害の理解 の該当部分をみってくる	45分
	【復習】心臓機能障害、呼吸機能障害に応じた介護のポイントをまとめる	45分
第17回	視覚障害に応じた介護	
	【予習】テキストP31～P45までを読んでくる 障害の理解 の該当部分をみってくる	45分
	【復習】視覚障害に応じた介護のポイントをまとめる	45分
第18回	聴覚障害・言語障害・重複障害に応じた介護	
	【予習】テキストP46～P73までを読んでくる 障害の理解 の該当部分をみってくる	45分
	【復習】聴覚障害・言語障害に応じた介護のポイントをまとめる 重複障害に応じた介護について考える：レポート提出	45分
第19回	腎臓機能障害・免疫機能障害、肝臓機能障害に応じた介護	
	【予習】テキストP108～P120、P146～P157、P158～P169までを読んでくる 障害の理解 の該当部分をみってくる	45分
	【復習】腎臓機能障害・免疫機能障害、肝臓機能障害に応じた介護のポイントをまとめる	45分
第20回	腎臓機能障害・免疫機能障害、肝臓機能障害に応じた介護	
	【予習】テキストP108～P120、P146～P157、P158～P169までを読んでくる 障害の理解 の該当部分をみってくる	45分
	【復習】腎臓機能障害・免疫機能障害、肝臓機能障害に応じた介護のポイントをまとめる	45分

第21回	知的障害に応じた介護	
	【予習】テキストP190～P197までを読んでくる 障害の理解 の該当部分をみってくる	45分
	【復習】知的障害に応じた介護のポイントをまとめる	45分
第22回	小腸機能障害に応じた介護	
	【予習】テキストP134～P145までを読んでくる 障害の理解 の該当部分をみってくる	45分
	【復習】小腸機能障害に応じた介護のポイントをまとめる	45分
第23回	膀胱・直腸障害に応じた介護	
	【予習】テキストP121～P133までを読んでくる 障害の理解 の該当部分をみってくる	45分
	【復習】膀胱・直腸機能障害に応じた介護のポイントをまとめる	45分
第24回	膀胱・直腸障害に応じた介護	
	【予習】テキストP121～P133までを読んでくる 障害の理解 の該当部分をみってくる	45分
	【復習】膀胱・直腸機能障害に応じた介護のポイントをまとめる	45分
第25回	障害者の育児支援	
	【予習】テキストP232～P247までを読んでくる 障害の理解 の該当部分をみってくる	45分
	【復習】発達障害に応じた介護のポイントをまとめる	45分
第26回	障害者の育児支援	
	【予習】「障害者総合支援法上の居宅介護（家事援助）等の業務に含まれる「育児支援」の取扱いについて」を読んでくる	45分
	【復習】障害者の育児支援の方法をまとめる	45分
第27回	精神障害に応じた介護	
	【予習】テキストP198～P218までを読んでくる 障害の理解 の該当部分をみってくる	45分
	【復習】精神障害に応じた介護のポイントをまとめる	45分
第28回	発達障害に応じた介護	
	【予習】テキストP198～P218までを読んでくる 障害の理解 の該当部分をみってくる	45分
	【復習】精神障害に応じた介護のポイントをまとめる	45分
第29回	まとめ 障害者の特性に応じた支援	
	【予習】疾病、障害とケアの特性について、教科書を読んでおく。	45分
	【復習】これまでの授業を振り返り、障害の特性に応じた支援についてまとめる	45分
第30回	まとめ 障害の特性に応じた支援	
	【予習】疾病、障害とケアの特性について、教科書を読んでおく。	45分
	【復習】これまでの授業を振り返り、障害の特性に応じた支援についてまとめる	45分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-24				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	奥野 勝太 井上 理絵					
実務経験	【奥野】老人保健施設やデイサービスにおいて、介護職、生活相談員、管理者を務め、高齢者の生活支援や家族の相談援助などの実務経験を活かし、必要な知識・技術に介護現場の実態を交えながら解説。【井上】特別養護老人ホーム・デイサー								
開講時期	2年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	生活支援技術、介護福祉論		後継科目						
関連科目	生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	【1～15回】介護ロボット・ICTが求められる背景、介護ロボット・ICTの効果を学ぶとともに、学生が介護ロボット・ICT機器を調査や体験をとおして理解を深める。また、介護ロボットを導入活用するための組織体制について学習する。 【16～30回】環境整備、移動、排泄、食事、清潔、着脱の支援についての復習を行い、事例にもとづいて技術の確認を行う。								
学習目標	【1～15回】1.介護ロボット・ICTを活用できる基礎的能力を習得する。2.介護ロボット・ICT活用の重要性を利用者・介護職員・組織の3つの視点から理解する。 【16～30回】介護過程の展開を踏まえて、生活支援技術の基礎を再確認し、技術を評価することで生活支援技術の向上を図る。								
キーワード	【1～15回】介護ロボット・ICT、安全と倫理、組織 【16～30回】 自立支援 技術の向上 尊厳の保持								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成講座編集委員会 「最新介護福祉士養成講座6 生活支援技術」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護ロボット・ICTの定義や意義を理解できる。 本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための知識を習得している。								
LO-2	介護ロボット・ICTの使用方法を理解し、活用したケアができる。 さまざまな生活場面において自立支援の観点から根拠に基づいた介護技術を実践できる。								
LO-3	対象者の心身の状況に応じた介護ロボット・ICTの活用や自身の調べた介護ロボット・ICTを分かりやすく表現することができる。								
LO-4	介護ロボット・ICTの積極的に見学・体験・調査することができる。 状況に合わせ計画的に技術および福祉用具を自ら調査し、選択・活用することができる。								
LO-5	他者の考えや発言を聴き、自分の意見を丁寧に伝えることができる。 各事例についてチームで考え、助言をし合うなど、協力しながら課題を実施することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50			50			100
LO-1			10			10			20
LO-2			10			10			20
LO-3			10			10			20
LO-4			10			10			20
LO-5			10			10			20
備考	レポートは、コメントをつけて、学生に返却する。グループワークやプレゼンテーションを授業で実施します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護ロボット・ICTの基礎知識	
	【予習】介護現場が抱える介護問題を考える。	90分
	【復習】介護ロボットの定義、介護ロボットが導入される背景をまとめる。	90分
第2回	利用者に適した介護ロボット・ICTの活用	
	【予習】介護ロボットには、どのような機器があるのか調べる。	90分
	【復習】グループで調査した介護ロボット・ICTをまとめる。	90分
第3回	利用者に適した介護ロボット・ICTの活用	
	【予習】介護ロボットには、どのような機器があるのか調べる。	90分
	【復習】グループで調査した介護ロボット・ICTをまとめる。	90分
第4回	ICT機器の操作体験	
	【予習】介護現場で活用しているICTを調べる。	90分
	【復習】ICT活用の効果と課題についてまとめる。	90分
第5回	利用者のQOLと自立支援に向けた支援	
	【予習】移乗介助ロボット「HUG」について調べる。	90分
	【復習】演習「ベッドから車イスへの移乗」を振り返り、まとめる。	90分
第6回	利用者のQOLと自立支援に向けた支援	
	【予習】移乗介助ロボット「HUG」について調べる。	90分
	【復習】演習「ベッドから車イスへの移乗」を振り返り、まとめる。	90分
第7回	利用者のQOLと自立支援に向けた支援	
	【予習】とやま介護テクノロジー普及・推進センターの概要を調べる。	90分
	【復習】体験した介護ロボット・ICT機器をまとめる。	90分
第8回	利用者のQOLと自立支援に向けた支援	
	【予習】とやま介護テクノロジー普及・推進センターの概要を調べる。	90分
	【復習】体験した介護ロボット・ICT機器をまとめる。	90分
第9回	介護ロボット・ICT活用におけるリスクマネジメント	
	【予習】介護ロボット・ICT活用による介護事故を調べる。	90分
	【復習】介護ロボット・ICTの留意点をまとめる。	90分
第10回	介護ロボット・ICT活用における倫理	
	【予習】介護における倫理について復習する。	90分
	【復習】介護ロボット・ICTを活用と倫理についてまとめる。	90分

第11回	介護現場での介護ロボット・ICT導入にむけた組織のあり方と課題	
	【予習】実習先での介護ロボット・ICTの導入活用状況を振り返る。	90分
	【復習】介護ロボット・ICTを活用した組織についてまとめる。	90分
第12回	介護現場での介護ロボット・ICT導入にむけた組織のあり方と課題	
	【予習】実習先での介護ロボット・ICTの導入活用状況を振り返る。	90分
	【復習】介護ロボット・ICTを活用した組織についてまとめる。	90分
第13回	介護ロボット・ICTの実践的活用	
	【予習】見学に行く介護施設の概要をまとめる。	90分
	【復習】介護ロボット・ICTを活用している介護施設の実際からの学びをまとめる。	90分
第14回	介護ロボット・ICTの実践的活用	
	【予習】見学に行く介護施設の概要をまとめる。	90分
	【復習】介護ロボット・ICTを活用している介護施設の実際からの学びをまとめる。	90分
第15回	まとめ	
	【予習】これまでの授業のまとめを振り返る。	90分
	【復習】「介護ロボット・ICTの効果と課題」、「介護ロボット・ICTを組織で活用するために」についてまとめる。	90分
第16回	居住環境の整備	
	【予習】安全に快適に暮らすための生活環境について復習する	90分
	【復習】居住環境の整備における多職種との連携について考える	90分
第17回	移動の介護 上方移動、水平移動、側臥位、ポジショニング	
	【予習】テキストP101～P116、P128～P135	90分
	【復習】スライディングシートの活用方法と安楽な体位と姿勢について復習する。	90分
第18回	移動の介護 上方移動、水平移動、側臥位	
	【予習】テキストP101～P116、P128～P135	90分
	【復習】スライディングシートの活用方法と安楽な体位と姿勢について復習する。	90分
第19回	排泄の介護 ベッド上での排泄	
	【予習】排泄の用具と使用方法について調べる	90分
	【復習】下痢をしている人への支援方法の留意点をまとめる	90分
第20回	排泄の介護 ベッド上での排泄	
	【予習】事例の内容を確認する	90分
	【復習】下痢をしている人への支援方法の留意点をまとめる	90分

第21回	排泄の介護 ベッド上での排泄 確認テスト	
	【予習】事例を何度もシミュレーションをする	90分
	【復習】確認テスト結果をふり返る	90分
第22回	移動・口腔ケアの介護	
	【予習】ウォーカーケインを使用した移動方法、口腔ケアについて復習する	90分
	【復習】安定した立位への支援方法の留意点をまとめる	90分
第23回	移動・口腔ケアの介護	
	【予習】事例の内容を確認する	90分
	【復習】利き手交換をした口腔ケアの支援について復習をする	90分
第24回	食事・移動・口腔ケアの介護 確認テスト	
	【予習】事例を何度もシミュレーションをする	90分
	【復習】確認テスト結果をふり返る	90分
第25回	食事の介護	
	【予習】食事の介護について復習する	90分
	【復習】食事時の姿勢、美味しく食べる食事の支援方法の留意点をまとめる	90分
第26回	食事の介護	
	【予習】事例の内容を確認する	90分
	【復習】利き手交換をした食事の支援、口腔ケアの支援について復習をする	90分
第27回	食事・移動・口腔ケアの介護 確認テスト	
	【予習】事例を何度もシミュレーションをする	90分
	【復習】確認テスト結果をふり返る	90分
第28回	着脱の介護	
	【予習】着脱の介護について復習する	90分
	【復習】入浴前中後の状態観察の必要性についてまとめる	90分
第29回	着脱の介護	
	【予習】事例の内容を確認する	90分
	【復習】復習をする	90分
第30回	着脱の介護 確認テスト	
	【予習】事例を何度もシミュレーションをする	90分
	【復習】確認テスト結果をふり返る	90分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-25				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	中島 眞由美 奥野 勝太					
実務経験	老人保健施設やデイサービスにおいて、介護職、生活相談員、管理者を務め、高齢者の生活支援や家族の相談援助などの実務経験を活かし、必要な知識・技術に介護現場の実態を交えながら解説する。								
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	生活支援技術 ~ 、こころとからだのしくみ ~		後継科目	なし					
関連科目	介護福祉論 、こころとからだのしくみ								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	前半は、自分の命を守るための知識、技能や防災・減災に向けた地域や介護施設の取り組みを学習します。また、災害発生時、介護福祉職としての支援のあり方をグループワークなどから理解します。 後半は、こころとからだのしくみ と連携しながら人生の最終段階の意義と介護の役割、具体的な介護、多職種連携について学習します。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 災害時の自助、共助に関する知識、技能を養います。 2 介護福祉士の災害支援の役割や支援方法を理解する。 3 死をむかえる人、死をむかえた人の介護、亡くなったあとの介護・グリーフケアについて理解する。 4 在宅・施設における看取り介護におけるチームアプローチの中で介護福祉士としての役割を理解する。 								
キーワード	自助力、災害情報、地域防災、災害時要配慮者、災害支援 終末期、アドバンス・ケア・プランニング、看取り介護、グリーフケア、多職種連携								
テキスト・ 参考書等	最新・介護福祉士養成講座 介護福祉士養成講座編集委員会編集「生活支援技術」「介護の基本」中央法規 最新・介護福祉士養成講座 介護福祉士養成講座編集委員会編集「生活支援技術」中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	災害発生時および平常時における対策、災害に関連する制度、災害による弊害、災害支援のあり方などの知識を十分有している。人生の最終段階にある人及びその家族に寄り添い、安全で安楽なより人間的なケアの基礎的な知識がある。								
LO-2	災害時、尊厳と自立支援を踏まえた生活支援技術を有している。 人生の最終段階にある人及びその家族に寄り添い、安全で安楽なより人間的なケアの基礎的な技術がある。								
LO-3	自身を取り巻く災害リスクに合わせた災害対策や対象者に合わせた生活支援を展開できる。 人生の最終段階にある人とその家族に寄り添い、安全で安楽なより人間的なケアについて考える思考力・判断力がある。								
LO-4	災害への危機意識をもち、災害への備え、支援方法を積極的に理解する姿勢が見られる。 人生の最終段階にある人及びその家族に寄り添い、より人間的なケアについて、主体的に学ぶ意欲や態度がある。								
LO-5	他者の考えや発言を傾聴、共感しつつ、自身の考えを丁寧に伝えることができる。人生の最終段階にある人及び家族の物語に共感し、寄り添い、人権を尊重したケアを行う人間性、多職種連携への社会性がある。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	グループワーク、ディスカッションを用いた授業を展開します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	身近で起こりうる災害への備え	
	【予習】近年日本で発生している災害を調べておく。	90分
	【復習】多様な災害への対応をまとめる	90分
第2回	災害に関する情報とその活用	
	【予習】気象庁のホームページの防災情報を閲覧し、どのような防災情報があるの把握する。	90分
	【復習】災害時に活用できるツールをまとめる。	90分
第3回	防災・減災にむけた平常時対策	
	【予習】自分の住まいの備蓄（非常食など）を調べておく。	90分
	【復習】家族と災害時のわが家のルールを話し合い、まとめる	90分
第4回	地域の防災活動と多様性の配慮	
	【予習】災害時、高齢者や障がい者が困ることを考える。	90分
	【復習】災害発生時、災害時要配慮者になりうる人をまとめる	90分
第5回	介護施設の災害対策	
	【予習】介護施設における災害のリスクを考える	90分
	【復習】介護施設が取り組んでいる災害対策をまとめる	90分
第6回	災害による様々な弊害と支援の在り方と多職種連携	
	【予習】災害時に起こりうる弊害を考える。	90分
	【復習】介護福祉職としての災害支援の役割と留意点をまとめる	90分
第7回	避難所における災害時要配慮者への支援	
	【予習】災害時要配慮者にあたる対象者を振り返っておく	90分
	【復習】災害時要配慮者への留意点をまとめる	90分
第8回	人生の最終段階の意義について	
	【予習】教科書P269～273を読んでくる	90分
	【復習】人生の最終段階の意義と介護の役割について振り返る	90分
第9回	人生の最終段階の意義と介護の役割 エンディングノート DVD鑑賞	
	【予習】エンディングノートについて調べておく	90分
	【復習】DVDを振り返りレポートをまとめる	90分
第10回	人生の最終段階における介護 その人らしい生活を最期まで支えるためのアドバンス・ケア・プランニング(意思決定支援)	
	【予習】アドバンス・ケア・プランニングについて調べる。	90分
	【復習】アドバンス・ケア・プランニングの重要性と具体的内容をまとめる。	90分

第11回	人生の最終段階における介護 死をむかえる人の介護（食事・排泄・清潔・苦痛の緩和等）	
	【予習】 教科書P269～P273を読んでくる	90分
	【復習】 全人的苦痛について振り返る	90分
第12回	人生の最終段階における介護 コミュニケーション、家族支援	
	【予習】教科書274～277を読んでくる	90分
	【復習】人生の最終段階におけるコミュニケーションを振り返りまとめる	90分
第13回	人生の最終段階における介護 亡くなったあとの介護（グリーフケア）	
	【予習】 教科書P278～P283について読んでくる	90分
	【復習】グリーフケアについて振り返りまとめる	90分
第14回	人生の最終段階における多職種との連携と死をむかえた人の介護（エンゼルケア）	
	【予習】 教科書P284～P290を読んでくる	90分
	【復習】エンゼルケアについて振り返る。	90分
第15回	人生の最終段階における介護、まとめ	
	【予習】人生の最終段階における介護職に必要な知識・技術・倫理をまとめてくる	90分
	【復習】人生の最終段階に応じた介護を振り返る	90分

授業科目名	介護過程			科目コード	W111-42				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	奥野 勝太					
実務経験	老人保健施設やデイサービスにおいて、介護職、生活相談員、管理者を務め、高齢者の介護計画の作成や多職種連携などの実務経験を活かし、必要な知識・技術に介護現場の実態を交えながら解説する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護過程、介護過程		後継科目	介護過程					
関連科目	介護福祉論 ・ 実習指導								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護計画実習で作成した受け持ち利用者の介護計画の立案の理解を多様なアプローチから深める。介護計画の実施、評価していく際の観点や留意点を学ぶ。事例を用いて、実施、評価を中心に、介護過程の展開をグループワークなどから実践的に取り組む。また、介護過程とケアマネジメントの関連性について学び、介護過程とチームアプローチの必要性について理解を深めます。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. ICFの視点をとおしてアセスメントし、計画,実践,評価することを理解する。 2. 利用者の状況に応じて、介護過程を展開できる能力を身につける。 3. 事例検討を通して、司会や参加者の役割などカンファレンスに必要な能力を身につける。 								
キーワード	個人因子、計画立案・実施・評価、再アセスメント								
テキスト・ 参考書等	アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブック みらい、「ヘルプマン！」に学ぶ介護過程 中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護計画の立案、実施・評価する方法を理解している。								
LO-2	介護過程の展開を本学作成のICFモデルシートに的確に記録し、記述することができる。								
LO-3	利用者の生活課題を見出し、習得している知識や技術をICFの視点を基にして、介護過程の展開に生かすことができる。								
LO-4	介護過程を展開（アセスメント・計画立案・実施評価）するために必要な情報や知識を積極的に修得しようと授業に取り組んでいる。								
LO-5	事例検討会などにおいて、司会や記録などの役割を体験することで、他者の立場で物事を考えることができ、協調・協働して物事を進めていくことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80		20				100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5					20				20
備考	介護過程を展開した事例については、ポイントなどを授業の中で解説します。 適宜、グループワークやロールプレイングを取り入れた授業を展開します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護過程の展開(I アセスメントから立案まで)の復習	
	【予習】介護計画実習で記述したD 1～3、E,Fの記録を見直す	60分
	【復習】本時の授業で振り返りをした情報収集から立案までについて見直す。	120分
第2回	計画実習での介護過程の展開を振り返り、自己の課題と思考過程の特徴などを自己覚知する。	
	【予習】計画実習で取組んだ介護過程(D～F表)を読み返す。	60分
	【復習】グループメンバーからの意見をまとめる。	120分
第3回	各自、計画実習で立案した介護計画をグループ内で共有し、課題や良かった点などについて意見交換をする。	
	【予習】計画実習で取組んだ介護過程(D～F表)を発表できるよう準備をする。	60分
	【復習】グループメンバーからもらった意見をまとめる。	120分
第4回	各自の受け持ち利用者のD 1～3 記録をもとに、アセスメント～立案する。グループワーク	
	【予習】グループワークで検討する事例を1つ決めてくる。	60分
	【復習】事例の介護目標や援助内容を検討する。	120分
第5回	各自の受け持ち利用者のD 1～3 記録をもとに、アセスメント～立案。グループワーク	
	【予習】グループワークで検討する事例を1つ決めてくる。	60分
	【復習】事例の介護目標や援助内容を検討する。	120分
第6回	各自の受け持ち利用者のD 1～3 記録をもとに、アセスメント～立案。グループワーク	
	【予習】発表の準備をする。	60分
	【復習】発表を聴き、各自、計画実習の立案を見直す。	120分
第7回	各グループのアセスメント～立案を発表	
	【予習】発表の準備をする。	60分
	【復習】発表を聴き、各自、計画実習の立案を見直す。	120分
第8回	各グループのアセスメント～立案を発表	
	【予習】発表の準備をする。	60分
	【復習】発表を聴き、各自、計画実習の立案を見直す。	120分
第9回	受け持ち利用者の時代背景を調査し、まとめる。	
	【予習】介護計画実習で記述したD 1～3 の記録を見直す	90分
	【復習】調査した時代背景をまとめる。	90分
第10回	受け持ち利用者の時代背景を調査し、まとめる。	
	【予習】介護計画実習で記述したD 1～3 の記録を見直す	90分
	【復習】調査した時代背景をまとめる。	90分

第11回	受け持ち利用者の時代背景を調査、まとめ、発表する。	
	【予習】時代背景の発表準備をする。	90分
	【復習】時代背景を踏まえ、D1～3の記録を修正する。	90分
第12回	計画実習の立案内容に関すること（趣味や特技など）を調べ、まとめる。	
	【予習】介護計画実習で記述したD1～3の記録を見直す	90分
	【復習】調査した趣味や特技などをまとめる。	90分
第13回	計画実習の立案内容に関すること（趣味や特技など）を調べ、まとめる。	
	【予習】介護計画実習で記述したD1～3の記録を見直す	90分
	【復習】調査した趣味や特技などをまとめる。	90分
第14回	立案内容に関すること（趣味や特技など）を発表	
	【予習】調査した趣味や特技などの発表準備をする。	90分
	【復習】介護計画実習で記述したE,Fの記録を見直す	90分
第15回	介護過程の実施について	
	【予習】アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブックP95～P99を読む。	90分
	【復習】実施のポイントをまとめる。	90分
第16回	介護過程の実施について(自分たちが立案した介護計画をロールプレイングしよう)	
	【予習】アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブックP95～P99を読む。	90分
	【復習】実施のポイントをまとめる。	90分
第17回	介護過程の実施について(自分たちが立案した介護計画をロールプレイングしよう)	
	【予習】アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブックP95～P99を読む。	90分
	【復習】実施のポイントをまとめる。	90分
第18回	介護過程の実施について(自分たちが立案した介護計画をロールプレイングしよう)	
	【予習】アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブックP95～P99を読む。	90分
	【復習】実施のポイントをまとめる。	90分
第19回	介護過程の評価と総合評価について	
	【予習】アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブックP105を読む。	90分
	【復習】評価と総合評価のポイントをまとめる。	90分
第20回	自分たちが立案した介護計画から評価してみよう	
	【予習】アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブックP105を読む。	90分
	【復習】評価と総合評価のポイントをまとめる。	90分

第21回	自分たちが立案した介護計画から評価してみよう	
	【予習】アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブックP105を読む。	90分
	【復習】評価と総合評価のポイントをまとめる。	90分
第22回	自分たちが立案した介護計画から評価してみよう	
	【予習】アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブックP105を読む。	90分
	【復習】評価と総合評価のポイントをまとめる。	90分
第23回	介護過程の実践的展開 事例1 アセスメント-立案	
	【予習】介護過程の展開(Iアセスメントから評価まで)の復習	90分
	【復習】事例1を記録用紙D1～3、E、Fにまとめる。	90分
第24回	介護過程の実践的展開 事例1 アセスメント-立案	
	【予習】介護過程の展開(Iアセスメントから評価まで)の復習	90分
	【復習】事例1を記録用紙D1～3、E、Fにまとめる。	90分
第25回	介護過程の実践的展開 事例1 アセスメント-立案	
	【予習】介護過程の展開(Iアセスメントから評価まで)の復習	90分
	【復習】事例1を記録用紙D1～3、E、Fにまとめる。	90分
第26回	介護過程とケアマネジメントの関係性	
	【予習】ケアマネジメントとは何か調べてくる。	90分
	【復習】介護過程におけるケアマネジメントについてまとめる。	90分
第27回	介護過程とケアマネジメントの関係性	
	【予習】ケアマネジメントとは何か調べてくる。	90分
	【復習】介護過程におけるケアマネジメントについてまとめる。	90分
第28回	チームアプローチにおける介護福祉士の役割	
	【予習】介護福祉士の役割を考える。	90分
	【復習】チームアプローチにおける介護福祉士の役割をまとめる。	90分
第29回	チームアプローチにおける介護福祉士の役割	
	【予習】介護福祉士の役割を考える。	90分
	【復習】チームアプローチにおける介護福祉士の役割をまとめる。	90分
第30回	介護過程の実践的展開 まとめ	
	【予習】介護過程の展開方法を確認する。	90分
	【復習】介護過程実習に向けて、自己の課題を確認する。	90分

授業科目名	介護過程			科目コード	W111-43				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	奥野 勝太					
実務経験	老人保健施設やデイサービスにおいて、介護職、生活相談員、管理者を務め、高齢者の介護計画の作成や多職種連携などの実務経験を活かし、必要な知識・技術に介護現場の実態を交えながら解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	介護過程、介護過程、介護過程		後継科目	なし					
関連科目	実習指導								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護過程実習の自己の事例発表(ケーススタディ発表)や事例展開を行い、介護過程の一連の展開に必要な知識、思考力を養います。また、社会参加の視点からのアプローチ方法やMDS方式、包括的自立支援プログラムなど、介護の現場で活用されるアセスメントシートについて知識を深めていきます。								
学習目標	利用者の状況に応じて、応用・活用できるよう能力を養います。専門職として必要な知識・技術を身に付け、多職種との連携ができる能力を身に付けます。利用者を取り巻く生活環境を意識して、社会の動向に関心を寄せ、よりよい生活支援に取り組むことができる能力を身に付けます。								
キーワード	介護過程の展開、アセスメント、ICF、施設ケアプラン、事例検討								
テキスト・ 参考書等	アクティブラーニングで学ぶ介護過程ワークブック みらい								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	実習での経験を踏まえて、実践的な「介護過程の展開」を習得している知識や技術と結びつけていくことができる								
LO-2	既存のアセスメントツールを理解し、オリジナルのアセスメントツールを作成することができる								
LO-3	ICFの視点をもとに、利用者の状況に応じた介護過程の展開を応用・活用することができる。								
LO-4	事例検討会などに積極的に参加し、介護過程の理解を深めることができる。								
LO-5	円滑なコミュニケーションのとり方の基本が身についており、他者の意見を尊重しながら、グループの意見をまとめ、発表することができる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			30						30
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			10						10
LO-5			20						20
備考	課題レポートは、コメントをつけて返却する。グループワークやディスカッションを授業で実施します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	自己の介護過程実習を振り返る 情報収集D1～3 アセスメントEを振り返る (1)	
	【予習】介護過程実習で作成した受け持ち利用者のD1.2.3E1.2F G表を見直してくる	60分
	【復習】自分の事例を発表できるようにまとめる	120分
第2回	介護過程実習を振り返る 自己の事例におけるアセスメントから介護計画F、Gまでを見直し発表できるようまとめる。 (2)	
	【予習】自己の事例を見直す	60分
	【復習】自己の事例を振り返りシートに記入する	120分
第3回	介護過程実習を振り返る ケーススタディの発表準備	
	【予習】実習の手引きを確認する	60分
	【復習】担当教員に助言を受け自己の事例を振り返る	120分
第4回	介護過程実習を振り返る ケーススタディ発表	
	【予習】発表の準備をする。	0分
	【復習】発表メンバーの意見を振り返りシートに記入する	0分
第5回	介護過程実習を振り返る ケーススタディ発表	
	【予習】前回までのグループメンバーの発表を見直す	0分
	【復習】発表メンバーの意見を振り返りシートに記入する	0分
第6回	介護過程実習を振り返る ケーススタディ発表	
	【予習】前回までのグループメンバーの発表を見直す	0分
	【復習】発表メンバーの意見を振り返りシートに記入する	0分
第7回	介護過程の展開、社会参加へのアプローチ	
	【予習】社会参加のアプローチ方法を復習する	60分
	【復習】社会参加のアプローチの評価方法を復習する	120分
第8回	介護過程の展開、社会参加へのアプローチ	
	【予習】社会参加のアプローチ方法を復習する	60分
	【復習】社会参加のアプローチの評価方法を復習する	120分
第9回	介護過程の展開、社会参加へのアプローチ	
	【予習】社会参加のアプローチ方法を復習する	60分
	【復習】社会参加のアプローチの評価方法を復習する	120分
第10回	利用者のさまざまな生活と介護過程の展開	
	【予習】事例を読んでくる。	60分
	【復習】記入したD1～3、E、F、Gを見直す。	120分

第11回	利用者のさまざまな生活と介護過程の展開	
	【予習】事例を読んでくる。	60分
	【復習】記入したD1～3、E、F、Gを見直す。	120分
第12回	利用者のさまざまな生活と介護過程の展開	
	【予習】事例を読んでくる。	60分
	【復習】記入したD1～3、E、F、Gを見直す。	120分
第13回	利用者のさまざまな生活と介護過程の展開	
	【予習】事例を読んでくる。	60分
	【復習】記入したD1～3、E、F、Gを見直す。	120分
第14回	利用者のさまざまな生活と介護過程の展開	
	【予習】事例を読んでくる。	60分
	【復習】記入したD1～3、E、F、Gを見直す。	120分
第15回	介護過程に展開におけるアセスメントシート（包括的自立支援プログラム）	
	【予習】これまで学んだ介護過程の展開のまとめをする	60分
	【復習】専門職としてあるべき姿を見据える	120分

授業科目名	実習指導			科目コード	W111-52				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	奥野 勝太 中島 真由美 関 好博 小椋 一也 井上 理絵					
実務経験	老人保健施設やデイサービスにおいて、介護職、生活相談員、管理者を務め、実習指導や職員教育などの実務経験を活かし、必要な知識・技術に介護現場の実態を交えながら解説する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	実習指導、介護過程、介護過程		後継科目	介護過程					
関連科目	実習指導、介護福祉論、社会保障、介護過程、介護過程								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護計画実習を振り返り、獲得した知識や技術を整理し、実習課題の自己到達度を評価し、介護過程実習に向けての課題を明確にします。また、グループワーク等により、各々の体験の共有化を図り、学びを深めます。								
学習目標	介護過程実習の目的や到達目標を理解し、実習への自己目標や心構えを確かなものにする。								
キーワード	介護過程、情報収集、アセスメント、介護計画立案・実施・評価 夜勤実習								
テキスト・ 参考書等	2024年度富山短期大学 介護実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護過程実習の目的・目標、実習記録の内容や書き方を理解できる。介護過程の展開(情報収集から評価まで)方法を理解できる。								
LO-2	実習生として利用者の尊厳に配慮することを理解し、適切にかかわる姿勢を習得する。各種記録の目的を理解し、正確に記録する技能を有する。								
LO-3	実習での学びや課題、他者の助言などをまとめることができる。								
LO-4	授業に積極的に参加し意見を述べるができる。グループワークの趣旨を理解し主体的にディスカッションに参加できる。								
LO-5	協調性や責任感を持ち、他者の意見を尊重しつつ、授業に参加することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	採点した課題レポートは、コメントをつけて返却する。グループワークや発表会を授業で実施します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護計画実習事後指導（1） 介護計画実習を振り返る 介護過程実習、総合実習の配属について説明を受け、希望する施設・事業所の希望を考える。	
	【予習】介護計画実習のファイルやメモを見て、自分で振り返りを行う。	90分
	【復習】実習希望施設の場所の確認、概要の確認を行う。	90分
第2回	介護計画実習事後指導（2） グループ別実習報告を行い、利用者との関わりからの気付きや学び、介護職員や関連職種への態度や姿勢から学んだこと、指導で指摘されたこと等を話し合い、自分の体験と照らし合わせての差異から考え方を深める。	
	【予習】グループ演習ワークシートを記入しておく。	90分
	【復習】他の学生の体験も自分の体験を通して学んだことと同様になるよう、討議で出た意見をまとめ、さらなる利用者理解や専門職としてのあり方についての理解を深める。	90分
第3回	介護計画実習報告会	
	【予習】介護計画実習報告会の発表準備をする。	90分
	【復習】介護計画実習発表会からの学びをまとめる。	90分
第4回	介護過程実習事前指導（1） 介護過程実習の目的、目標、課題を理解する。	
	【予習】介護実習手引きの過程実習の内容を読む。	90分
	【復習】介護過程実習の全体の進め方を確認する。	90分
第5回	介護過程実習事前指導（2） 介護過程実習における記録内容と様式を理解する	
	【予習】介護過程実習で使用する記録用紙の例記を読む。	90分
	【復習】授業で説明した記録内容と書き方をまとめる。	90分
第6回	介護過程実習事前指導（3） 介護過程実習における記録内容と様式を理解する	
	【予習】介護過程実習で使用する記録用紙の例記を読む。	90分
	【復習】授業で説明した記録内容と書き方をまとめる。	90分
第7回	介護過程実習事前指導（4） 介護過程実習における自己の課題を明確にする。	
	【予習】実習の手引き介護過程実習の目的と到達目標を確認する	90分
	【復習】介護計画実習からの自己課題を明確にし、設定した自己目標を確認し、どのようにすれば達成できるか、具体的な行動目標を明らかにする。	90分
第8回	介護過程実習事前指導（5） 夜勤実習について	
	【予習】介護過程実習の内容を見直す。	90分
	【復習】夜勤中の介護職の役割と特徴をまとめる。	90分
第9回	介護過程実習事前指導（6） 事前レポートを作成する	
	【予習】第7回の実習指導で明確になった目標・課題を思い出し、シートに記入しておく。	90分
	【復習】事前レポートを完成させる。	90分
第10回	介護過程実習事前指導（7） 「受け持ちしたい利用者像」を作成する。	
	【予習】介護計画実習で受け持ちした利用者との関わりを振り返りや見出した課題から、介護過程実習で受け持ちしたい利用者を考える。	90分
	【復習】「受け持ちしたい利用者像」と自己課題との関連性を確認する。	90分

第11回	介護過程実習事前指導（8）経験録より生活支援技術の到達度と自己評価を振りかえり、自己の実習プログラムを計画する。	
	【予習】介護課程実習の内容を見直す。手引きを基に、3週間のシミュレーションを行う。	90分
	【復習】実習の手引きを参考に、3週間の介護過程実習の自己プログラムを見直す。	90分
第12回	介護過程実習事前指導（9）事前オリエンテーション実習記録の記述方法、注意事項について理解できる。	
	【予習】受け持ちたい利用者像と自己の課題を見直す。	90分
	【復習】介護過程実習の記録方法、注意事項について確認する	90分
第13回	介護過程実習事前指導（10）事前訪問	
	【予習】事前訪問時の注意事項を確認しておく	90分
	【復習】事前訪問で受けた説明についてA表に記載する	90分
第14回	介護過程実習事前指導（11）カンファレンスについて	
	【予習】D-1.2.3表、E-1.2表、F表、G表の記入方法や書き方の視点をしっかり理解する。	90分
	【復習】カンファレンスにむけた準備資料と進め方を復習する。	90分
第15回	介護過程実習事前指導（12）介護過程実習に向けて最終オリエンテーション	
	【予習】手引きやこれまでの資料から介護過程実習の意義と目的、自己目標を関連付けて考えをまとめる。	90分
	【復習】介護過程実習の自己課題・目標が達成できるよう、より考えを深める。	90分

授業科目名	実習指導			科目コード	W111-53				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	奥野 勝太 中島 眞由美 関 好博 小椋 一也 井上 理絵					
実務経験	老人保健施設やデイサービスにおいて、介護職、生活相談員、管理者を務め、実習指導や職員教育などの実務経験を活かし、必要な知識・技術に介護現場の実態を交えながら解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	実習指導 介護過程実習		後継科目						
関連科目	実習指導 生活支援技術 ~								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	学生自ら設定する学習課題に基づき、介護福祉士として必要な能力を総合的に習得します。								
学習目標	さまざまな利用者の暮らし、多様な介護サービスのあり方を検討する。主体的に実習課題を設定し、介護福祉士としての基本的な能力を総合的に身に付ける。								
キーワード	多様な介護サービス 自主的 自己課題 介護観								
テキスト・ 参考書等	2024年度 介護実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	総合実習の目的・目標をもとに、尊厳と自立を支える介護、多職種連携について理解できる。								
LO-2	実習生として利用者の尊厳に配慮することを理解し、適切にかかわる姿勢を習得する。 各種記録の目的を理解し、正確に記録する技能を有する。								
LO-3	実習での学びや課題、他者の助言などをまとめることができる。								
LO-4	意欲的に授業に参加し、各自の介護観について理解を深めることができる。								
LO-5	協調性や責任感を持ち、他者の意見を尊重しつつ、授業に参加することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	採点した課題レポートは、コメントをつけて返却する。グループワークや発表会を授業で実施します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護過程実習の事後指導（1）実習を振り返り自己の達成度を確認する	
	【予習】実習記録、経験録を見直す	30分
	【復習】自己評価を見ながら振り返る	30分
第2回	介護過程実習の事後指導（2）実習を振り返り自己の達成度を確認する	
	【予習】受け持った利用者の記録D1～3、E-1・E-2,F,G表を見直す	30分
	【復習】受け持った利用者の記録で、情報や内容があいまいなところを訂正する。既定の方法で整理する	30分
第3回	総合実習事前指導（1） 総合実習の目的、目標、課題を理解する。	
	【予習】介護実習手引きの総合実習の内容を読む。	90分
	【復習】総合実習の全体の進め方を確認する。	90分
第4回	総合実習事前指導（2） 総合実習における記録内容と様式を理解する	
	【予習】総合実習で使用する記録用紙の例記を読む。	90分
	【復習】授業で説明した記録内容と書き方をまとめる。	90分
第5回	総合実習事前指導（2） 総合実習における記録内容と様式を理解する	
	【予習】総合実習で使用する記録用紙の例記を読む。	90分
	【復習】授業で説明した記録内容と書き方をまとめる。	90分
第6回	総合実習の記録用紙の配布と説明	
	【予習】今までの実習を振り返る	30分
	【復習】実習の手引きを読み返す	30分
第7回	総合実習の心得について	
	【予習】実習の手引き「実習の心得」を読んでくる。	20分
	【復習】実習の心得を振り返る。	25分
第8回	総合実習事前訪問	
	【予習】事前訪問時の注意事項を確認しておく	20分
	【復習】事前訪問で受けた説明についてA表に記載する	25分
第9回	自己の課題を踏まえ、自主的な実習になるための自己プログラムを作成する	
	【予習】実習の手引き 総合実習のプログラムを見ておく	20分
	【復習】他者の意見を聞き自己のプログラムを見直す	40分
第10回	実習事前報告 事前訪問で気づいたこと、注意事項を報告する。他者の意見を聞き実習の課題を確認する	
	【予習】実習の手引きを読む。	20分
	【復習】他者の意見を聞き、自己の課題を確認しておく	40分

第11回	総合実習最終オリエンテーション	
	【予習】実習に必要なことを確認しておく	20分
	【復習】自己のプログラムを見直して実習に備える	25分
第12回	総合実習の振り返りと報告会についてのオリエンテーション	
	【予習】実習記録を整理しておく。	20分
	【復習】クラスメイトの意見を聞いて、学んだことを整理しておく。	25分
第13回	総合実習報告会 発表	
	【予習】自己の総合実習の記録すべてを整理しておく	20分
	【復習】報告会における意見、感想を受け振り返りを行いレポートを提出する	40分
第14回	総合実習報告会 発表	
	【予習】自己の総合実習の記録すべてを整理しておく	20分
	【復習】報告会における意見、感想を受け振り返りを行いレポートを提出する	40分
第15回	介護実習のまとめ	
	【予習】これまでの実習記録をふりかえる	20分
	【復習】授業での意見や感想をもとに課題レポートをまとめる。	40分

授業科目名	介護過程実習			科目コード	W111-62				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	奥野 勝太 中島 眞由美 関 好博 小椋 一也 井上 理絵					
実務経験	老人保健施設やデイサービスにおいて、介護職、生活相談員、管理者を務め、実習指導や職員教育などの実務経験を活かし、必要な知識・技術に介護現場の実態を交えながら解説する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	3単位					
前提科目(知識)	実習指導 介護計画実習		後継科目	総合実習 実習指導					
関連科目	介護過程 、 、 、 基礎実習 実習指導 、								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	個別ケアを行うために個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするための「受け持ち利用者」の介護計画の作成、実施後の評価やこれを踏まえた計画の修正という介護過程を展開し、他科目で学習した知識や技術を総合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を習得する。								
学習目標	「受け持ち利用者」のアセスメント・計画・立案・実践・評価・修正といった介護過程のプロセスを全面的に理解する。自立支援に向けた援助のあり方を考え、実践することができる。								
キーワード	介護計画立案・実施・評価 受け持ち利用者 生活支援技術 夜勤実習 通所介護・通所リハビリ実習								
テキスト・ 参考書等	平成26年度 介護実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	受け持ち利用者の全体像を把握し、個別的なニーズが分かる。さまざまな社会資源を知り、活用の仕方が理解できる。								
LO-2	個別的なニーズが分かり、反応を確認しながら援助ができる。自立支援に向けた援助のあり方を考え、実施することができる。生活支援技術の習得には、積み重ねが必要であることを理解できる。								
LO-3	ニーズを踏まえた実行可能な介護計画を立案し、実施、評価、修正ができる。介護過程や実施した事柄を具体的に簡潔に記録することができる。								
LO-4	受け持ち利用者の援助を中心に、他の職種・職員との協働を体験する。専門性のあり方について理解できる。								
LO-5	居宅サービスを体験し、施設と地域とのつながりが理解できる。個別性を尊重した自立支援について理解を深めることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	受け持ち利用者の選定を行う。(配属棟の利用者の概要を知る。受け持ちしたい利用者像と照らし合わせる。指導者より複数の利用者を紹介してもらう。さまざまな場面をおとして、利用者に関わる) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とは交流をはかる。指導のもと、ADLの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】1日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。持ち物の確認を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。	0分
第2回	受け持ち利用者の選定を行う。(配属棟の利用者の概要を知る。受け持ちしたい利用者像と照らし合わせる。指導者より複数の利用者を紹介してもらう。さまざまな場面をおとして、利用者に関わる) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とは交流をはかる。指導のもと、ADLの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】2日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。受け持ち利用者を決定するための情報を整理する。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。	0分
第3回	受け持ち利用者の決定。(候補者を2、3人あげ、指導者に相談する。受け持ち利用者を決定する。受け持ち利用者に説明し、同意を得る) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とは交流をはかる。指導のもと、ADLの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】3日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。D1.2.3表を手引きで抑えなおし、情報収集の視点を明確にする。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。	0分
第4回	受け持ち利用者の情報収集(個人ファイル、利用者、指導者、職員、他職種の方から情報を収集し、D1.2.3を手引きを参照しながら鉛筆で記入する。指導者に提出し、内容の確認をしてもらう。) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とは交流をはかる。指導のもと、ADLの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】4日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。D1.2.3表を手引きで抑えなおし、情報収集の視点を明確にする。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。	0分
第5回	受け持ち利用者の情報収集(個人ファイル、利用者、指導者、職員、他職種の方から情報を収集し、D1.2.3を手引きを参照しながら鉛筆で記入する。指導者に提出し、内容の確認をしてもらう。) 生活支援技術の習得(利用者の一日の流れを知る。利用者とは交流をはかる。指導のもと、ADLの比較的自立している利用者の生活支援技術を体験する。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】5日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。D1.2.3表を手引きで抑えなおし、情報収集の視点を明確にして記入していく。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受け持ち利用者の情報を整理して記録をする。	0分
第6回	受け持ち利用者の情報収集・確認(再度、不足している情報を多方面から収集する。追加・訂正したものを指導者に提出し、内容の確認をしてもらう。) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とは交流を図る。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】6日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。D1.2.3表を手引きで抑えなおし、情報を記入し、仕上げる。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受け持ち利用者の情報を整理して記録をする。	0分
第7回	受け持ち利用者の情報収集完成(実習の手引きの記入上の留意点を再度確認し、全体像を捉えていく。) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とは交流を図る。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】7日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。完成したD1.2.3表を基に、10の介護の視点を文章化していく。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受け持ち利用者の全体像から課題を介護上の課題を明確にするために、介護の10の視点から情報の意味づけ、統合を行う。	0分
第8回	アセスメント・計画立案(介護上の課題の方向性について、実習指導者または担当職員と意見交換を行う。ニーズについて、アセスメントし、E-1.2表を記入する。具体的援助内容を立案し、F表に記入後、指導者の確認を得る。) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とは交流を図る。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】8日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。E-1.2表を記入する。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受け持ち利用者の全体像から課題を明確にし、E-1.2表、F表を記入していく。	0分
第9回	アセスメント・計画立案(介護上の課題の方向性について、実習指導者または担当職員と意見交換を行う。ニーズについて、アセスメントし、E-1.2表を記入する。具体的援助内容を立案し、F表に記入後、指導者の確認を得る。) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とは交流を図る。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】9日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。E-1.2表、F表を記入する。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。受け持ち利用者の全体像から課題を明確にし、E-1.2表、F表を記入していく。	0分
第10回	中間カンファレンス(D-1.2.3表、E-1.2表、F表を基に、生活上の課題及び援助の方向性、具体的援助内容について説明し、助言を得る) 生活支援技術の習得(指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者とは交流を図る。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。)	
	【予習】10日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。中間カンファレンスの準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。中間カンファレンスの振り返りをし、記録を整理する。	0分

第11回	介護計画の立案・実施（立案した計画について、利用者に説明し同意を得る。立案した計画は、職員に口頭または文書で報告し、協力を依頼する。介護計画の具体的援助内容はB表の行動予定に組み込む。実施に際しては、利用者の意思を尊重し、反応を確かめながら実施する。実施した結果は、必ず実習指導者または担当職員に報告する。5W1Hに留意し、具体的な援助目標または援助内容ごとに記入する。）	
	【予習】11日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施を振り返り、記録を整理する。G表を記入する。	0分
第12回	介護計画の立案・実施（立案した計画について、利用者に説明し同意を得る。立案した計画は、職員に口頭または文書で報告し、協力を依頼する。介護計画の具体的援助内容はB表の行動予定に組み込む。実施に際しては、利用者の意思を尊重し、反応を確かめながら実施する。実施した結果は、必ず実習指導者または担当職員に報告する。5W1Hに留意し、具体的な援助目標または援助内容ごとに記入する。）	
	【予習】12日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施を振り返り、記録を整理する。G表を記入する。	0分
第13回	介護計画の立案・実施（立案した計画について、利用者に説明し同意を得る。立案した計画は、職員に口頭または文書で報告し、協力を依頼する。介護計画の具体的援助内容はB表の行動予定に組み込む。実施に際しては、利用者の意思を尊重し、反応を確かめながら実施する。実施した結果は、必ず実習指導者または担当職員に報告する。5W1Hに留意し、具体的な援助目標または援助内容ごとに記入する。）	
	【予習】13.14日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。夜勤実習の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。夜勤実習を振り返り、記録を整理する。	0分
第14回	介護計画の立案・実施（立案した計画について、利用者に説明し同意を得る。立案した計画は、職員に口頭または文書で報告し、協力を依頼する。介護計画の具体的援助内容はB表の行動予定に組み込む。実施に際しては、利用者の意思を尊重し、反応を確かめながら実施する。実施した結果は、必ず実習指導者または担当職員に報告する。5W1Hに留意し、具体的な援助目標または援助内容ごとに記入する。）	
	【予習】13.14日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。夜勤実習の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。夜勤実習を振り返り、記録を整理する。	0分
第15回	介護計画の評価・修正（実施した結果を考察する。再度アセスメントをする。） 生活支援技術の習得（指導のもと、利用者の特性に応じた生活支援技術の補助を行う。利用者と交流を図る。ターミナルケアの実践に関する取り組みの説明を聞く。実習指導者とのミニカンファレンスをする。記録と報告をする。経験した項目を経験録に記入し、指導者の確認を取る。）	
	【予習】15日目の実習の目標を立て、B表に記入する。実習生の行動予定を記入する。介護計画実施を振り返り、評価・修正の準備を行う。	0分
	【復習】利用者との関わり、生活支援技術の習得、実習態度等について、実習中の自分を振り返る。記録物の確認をする。介護計画実施、評価、修正の流れを振り返り、記録を整理する。G表に、記入する。	0分

授業科目名	総合実習			科目コード	W111-63				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	奥野 勝太 中島 真由美 関 好博 小椋 一也 井上 理絵					
実務経験	老人保健施設やデイサービスにおいて、介護職、生活相談員、管理者を務め、実習指導や職員教育などの実務経験を活かし、必要な知識・技術に介護現場の実態を交えながら解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	実習指導		後継科目	実習指導					
関連科目	実習指導、基礎実習 計画実習 過程実習								
資格等 取得との関連	介護福祉士資格取得								
授業の概要	実習施設、事業所において実習指導者の指示、助言を受け、自己の課題を目標に自主的な姿勢で実習を展開する								
学習目標	1 さまざまな利用者の暮らし等を知り、多様な介護サービスのあり方を理解する 2 主体的に実習課題を設定し、介護福祉士としての基本的な能力を総合的に身につける								
キーワード	利用者理解 主体性 チームワーク 介護観								
テキスト・ 参考書等	実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	利用者理解 さまざまな利用者の全体像を総合的に理解する。個別性を踏まえたうえでのケアの在り方を理解する								
LO-2	記録と計画 利用者の全体像が分かるように具体的に記述する 見学・体験した事柄を実習記録に記述することができる								
LO-3	生活支援技術 自立に向けた技術・意欲を引き出すコミュニケーションを工夫し、技術の到達レベルを確認できる								
LO-4	チームワーク チームの一員として介護の実践に携わり、介護福祉士の役割について総合的に理解できる								
LO-5	実習課題自己の課題の達成に向け計画的に取り組み、介護観について理解を深める								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	施設の一日の流れを知る 利用者の生活環境と一日の過ごし方を理解する 利用者との意図的なかかわりを実践する	
	【予習】実習の計画表を立て確認する	90分
	【復習】一日の実習を振り返り、見学・体験したことを記録に記載していく 翌日の自己の目標を考える	90分
第2回	実習指導者の説明を受け、基本的な生活支援技術を見学・体験していく ミニカンファレンスで気づいたことを発表し助言を受ける	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	90分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	90分
第3回	実習指導者の説明を受け基本的な生活支援技術の見学・体験をする ミニカンファレンスで気づいたことを発表し、助言を受ける	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	90分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	90分
第4回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	90分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	90分
第5回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	90分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	90分
第6回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	90分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	90分
第7回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	90分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	90分
第8回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	90分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する 翌日の自己の目標を考える	90分
第9回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る	90分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する	90分
第10回	利用者との意図的なかかわりを実践し、指導者の助言を受けて個々の利用者のニーズに応じた基本的な生活支援技術を実施する	
	【予習】前日の実習内容を振り返る 最終カンファレンスの準備をする	90分
	【復習】本日の実習を振り返る 見学・体験したことを記録する A-1表記入する	90分

授業科目名	ころとからだのしくみ			科目コード	W112-13				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - ころとからだのしくみ		担当教員名	白井 聡美					
実務経験	総合病院や看護教育機関での実務経験をもとに必要な知識や技術を解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	ころとからだのしくみ . . .		後継科目	なし					
関連科目	発達と老化の理解 . . . 、生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士必須科目								
授業の概要	排泄、休息・睡眠の介護実践の場面に応じたころとからだのしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について理解する内容とする。 人生の最終段階にある人と家族を支援するため、終末期の心身の変化が生活に及ぼす影響、生活支援を行うために必要となる基礎的な知識を理解する内容とする。								
学習目標	排泄、休息・睡眠の介護に必用なころとからだのしくみに関する基本的知識を身につける。 本人と家族の自立した生活を維持するために必要な心理・社会的支援の基礎的知識を身につける。 人生の最終段階にある人と家族を支援するための基礎的知識を身につける。								
キーワード	排泄、休息、睡眠、人生の最終段階、死の兆候								
テキスト・ 参考書等	・最新介護福祉士養成講座11「ころとからだのしくみ」第2版 中央法規（第1回～7回まで使用） ・介護現場で使える看取りケア便利帖 翔泳社（第8回～15回で使用）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	排泄、休養・睡眠のしくみ、心身の機能低下が及ぼす影響について基礎的知識がある。 人生の最終段階にある人と家族を支援するための基礎的知識がある。								
LO-2	排泄、休養・睡眠の観察のポイントについて説明できる。 人生の最終段階にある人と家族への観察点や留意点が説明できる。								
LO-3	心身の機能低下が排泄、休養・睡眠に及ぼす影響とその対応についての思考力・判断力がある。 人生の最終段階にある人と家族への支援について思考力・判断力がある。								
LO-4	排泄、休養・睡眠のケアについて科学的根拠に基づき主体的に学び続ける力がある。 人生の最終段階にある人と家族への支援について主体的に学び続ける力がある。								
LO-5	排泄、休養・睡眠のケアが必要な人の思いに共感する力がある。 人間の尊厳について考え、人生の最終段階の人に共感する力がある。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		30	40			30			100
LO-1		30							30
LO-2			10			10			20
LO-3			10			10			20
LO-4			10			5			15
LO-5			10			5			15
備考	その他 A は授業での発表や態度をもって評価する。 個人ワーク、グループワークを取り入れる。 授業アンケートでの質問は必要に応じ、次回授業で全体で共有する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	第7章 排泄に関連したことごとからだのしくみ 第1節 排泄のしくみ	
	【予習】教科書p214～224をよく読んでくる。 P225演習7-1「排尿と排便のしくみ」の空欄を埋める。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第2回	第7章 排泄に関連したことごとからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が排泄に及ぼす影響	
	【予習】教科書227～236をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第3回	第7章 排泄に関連したことごとからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が排泄に及ぼす影響	
	【予習】教科書p227～236をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第4回	第7章 排泄に関連したことごとからだのしくみ 第3節 変化の気づきと対応	
	【予習】教科書p238～244をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第5回	第8章 休息・睡眠に関連したことごとからだのしくみ 第1節 休息・睡眠のしくみ	
	【予習】教科書p246～253をよく読んでくる。 p254演習8-1「レム睡眠とノンレム睡眠」の空欄を埋める。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第6回	第8章 休息・睡眠に関連したことごとからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が休息・睡眠に及ぼす影響	
	【予習】教科書p256～262をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第7回	第8章 休息・睡眠に関連したことごとからだのしくみ 第3節 変化の気づくためのポイント	
	【予習】教科書p264～267をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第8回	小テスト（第1回～7回の内容での） 看取りとは 看取りケアの考え方	
	【予習】小テストの学習 テキスト「介護現場で使える看取りケア便利帖」p12～32をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第9回	看取りケアの進め方	
	【予習】テキスト「介護現場で使える看取りケア便利帖」p34～63をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第10回	看取りケアの進め方 人生の最終段階に向かうことごとからだの変化	
	【予習】テキスト「介護現場で使える看取りケア便利帖」p76～91をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分

第11回	人生の最終段階に向かうこころとからだの変化	
	【予習】テキスト「介護現場で使える看取りケア便利帖」p76～91をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第12回	臨終時のケア、死後のケア	
	【予習】テキスト「介護現場で使える看取りケア便利帖」92～95、104～115をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第13回	家族のこころの変化とケア グリーフケア、デスカンファレンス	
	【予習】テキスト「介護現場で使える看取りケア便利帖」p30～31、64～74、94～99、116～118をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第14回	自宅における看取り	
	【予習】テキスト「介護現場で使える看取りケア便利帖」p120～129をよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第15回	まとめ	
	【予習】これまでのノートなど目をとおしてくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分

授業科目名	認知症ケア論			科目コード	W112-31				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	井上 理絵 松島 紘子					
実務経験	介護福祉士として勤務した経験と、介護福祉士試験委員、認知症ケア上級専門士としての実績を基に、今後増加する認知症を持つ人々への適切なケア方法の知識と技術をわかりやすく、実践的な視点から授業を解説する。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	医学一般、高齢者・障害者の心理、認知症ケア論、障害者ケア論		後継科目	ターミナルケア論					
関連科目	障害者ケア論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	パーソンセンタード・ケアに基づきながら、認知症症状が出ている人の理解を深め、非薬物療法を中心に、グループワークやロールプレイを用いながら、事例をとおして対応方法について学んでいきます。また、認知症を支える家族への支援や地域連携について学びます。								
学習目標	認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族・地域を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得します。								
キーワード	パーソンセンタードケア、生活環境、地域支援、認知症の人と家族、非薬物療法								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会 新・介護福祉士養成講座「認知症の理解」中央法規 日本認知症ケア学会編「改訂認知症ケアの基礎」ワールドプランニング								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	認知症の人の特徴的な心理と行動、認知症の人を支える家族への支援と地域のサポート体制を十分に理解している。								
LO-2	認知症の人の機能の変化と日常生活への影響を知り、一人ひとりの症状に合った対応方法を考えることができる。								
LO-3	中核症状や周辺症状の区別ができ、日常生活に及ぼす影響を知り、対応方法を説明し、行動することが十分できる。								
LO-4	認知症高齢者支援対策として展開されている行政施策を理解し、自分の住む地域のサポート体制の必要性について知識を深めようと積極的に行動することができる。								
LO-5	ロールプレイをとおして、認知症の人や介護者の思いや感情を体験し、適切な具体的な関わり方について十分理解することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	30	10	20		40				100
LO-1	10	10							20
LO-2	20								20
LO-3			20						20
LO-4					20				20
LO-5					20				20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	認知症の人を取り巻く状況 これまで 今 これから	
	【予習】テキストP110～P120までを読む	90分
	【復習】長谷川和夫先生の著書を1冊読む	90分
第2回	認知症ケアの理念と視点	
	【予習】テキストP121～P134までを読んでくる	90分
	【復習】テキストP135演習	90分
第3回	認知症当事者の視点から見えるもの	
	【予習】テキストP136～P151までを読む	120分
	【復習】テキストP152 演習	60分
第4回	パーソン・センタード・ケア	
	【予習】テキストP154～P163まで読む	90分
	【復習】テキストP163 演習	90分
第5回	認知症の人の日常生活における支援 センター方式・ひもときシート	
	【予習】センター方式シート・ひもときシートについて調べる	90分
	【復習】センター方式シート・ひもときシートの活用方法を考えまとめる	90分
第6回	認知症の人とのコミュニケーション	
	【予習】テキストP191～P224まで読む	90分
	【復習】本人本位のケアのためのポイントを押さえる	90分
第7回	地域との連携 地域におけるサポート体制	
	【予習】地域におけるサポート体制について調べる	90分
	【復習】認知症の人が地域で暮らすために必要な資源やサポート体制について理解を深める	90分
第8回	地域との連携 チームアプローチ	
	【予習】チームアプローチに関わる職種について復習する	90分
	【復習】認知症の人を支える他職種の協働について理解し、その中での介護職の役割について考える	90分
第9回	家族への支援 家族へのレスパイトケア、エンパワメント	
	【予習】テキストP258～P275まで読む	90分
	【復習】介護者自身の体験を知り、家族介護の深さへの理解を深め、レスパイトの重要性について考える	90分
第10回	介護福祉職への支援	
	【予習】テキストP277～P290まで読む	90分
	【復習】介護福祉職が働きやすい職場環境について考える	90分

第11回	認知症の人の地域支援	
	【予習】テキストP294～P321まで読む	90分
	【復習】認知症の人を支える制度や機関、地域づくりについて理解を深める	90分
第12回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ(4) 事例：若年性認知症の方への関わり	
	【予習】若年性認知症について復習をする	90分
	【復習】認知機能の変化が及ぼす生活への影響と、その人らしい生活続けるために必要なことを環境因子を考える。また、若年性任長の人の生活の理解と支援について考えを深める。	90分
第13回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ(2) 事例：バリデーション・ユマニチュード・音楽療法	
	【予習】バリデーション・ユマニチュード・音楽療法について調べる	90分
	【復習】バリデーション・ユマニチュード・音楽療法について理解を深める	90分
第14回	認知症の人の日常生活における支援 認知症の人への心理的アプローチ(3) 事例：タクティールケアとスウェーデンの認知症ケア、園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法など	
	【予習】タクティールケアについて調べる 園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法など、さまざまなアプローチ方法を調べる	90分
	【復習】タクティールケアについて理解を深める 園芸療法、アニマルセラピー、化粧療法など、さまざまなアプローチ方法が概説できる	90分
第15回	認知症に関する制度と施策	
	【予習】テキストP260～P279まで読んでくる	90分
	【復習】オレンジプラン等の認知症に関する施策、権利擁護、高齢者虐待防止法との関係について理解を深める	90分

授業科目名	医療的ケア			科目コード	W113-10				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 医療的ケア		担当教員名	中島 眞由美 松居 紀久子					
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉士）として社会福祉事務所及び保健所等に勤務し医療的ケアが必要な児・者及びその家族の相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。看護師・介護支援専門員として大学病院14年								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	4単位					
前提科目(知識)	[こころとからだのしくみ ・ ・ ・]		後継科目	医療的ケア					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士必須科目								
授業の概要	医療的ケアの制度の概要、個人の尊厳と自立、倫理上の留意点、感染予防、安全管理体制等について基礎的知識を理解する内容とする。 喀痰吸引及び経管栄養について根拠に基づく手技が実施できるよう基礎知識と実施手順を理解する内容とする。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法制度や倫理、職種の役割、救急蘇生法、感染予防など、医療的ケアを安全・適切に実施する上での基礎的知識を得る。 2. 喀痰吸引に必要な人体の構造と機能、喀痰吸引を実施するために必要な基礎知識と手順を理解する。 3. 経管栄養に必要な人体の構造と機能、経管栄養を実施するために必要な基礎知識と手順を理解する。 								
キーワード	介護業務 医療的ケア 痰の吸引 経管栄養 救急蘇生法								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会編「医療的ケア」中央法規、介護福祉士養成講座編集委員会編「こころとからだのしくみ」中央法規、介護福祉士養成講座編集委員会編「社会の理解」中央法規、介護福祉士養成講座編「介護の基本」中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医行為に関連する法律や医療倫理、たんの吸引や経管栄養の実際の手順や留意点、救急蘇生法など、医療的ケアを安全・適切に実施するための基本的知識がある。								
LO-2	医療的ケアを安全に実施するための感染予防・健康チェックなどの基本的技能をもっている								
LO-3	医療的ケアの対象者とその範囲を理解し、提示された事例で適切に判断することができる。								
LO-4	医療的ケアを学ぶ意義を理解し、主体的に学ぶ意欲がある。								
LO-5	医療的ケアを実施するにあたって本人及び家族に思いに共感し、人間の尊厳を考えることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		40			10			100
LO-1	50		10						60
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4						10			10
LO-5			10						10
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	第1章医療的ケア実施の基礎 第1節医療的ケア 医療的ケアとは何か 医療的ケアについて学ぶ意義 医行為について テキストP2～4 中島 1回～2 1回	
	【予習】介護福祉論 で学習した介護の概念を復習してくる。	90分
	【復習】医療的ケアとは何か、医療行為は法的にはどのような行為か整理する。	60分
第2回	第1章第1節医療的ケア 喀痰吸引等制度 医療制度とその変遷 社会福祉士及び介護福祉士法の改正 喀痰吸引等制度の概要 テキストP11～21	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】介護福祉士が医療的ケアを行う要件を整理する。	60分
第3回	第1章第1節医療的ケア 医療の倫理について 自己決定 個人の尊厳と自立 利用者・家族の気持ちの理解 テキストP4～11	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】日本介護福祉士会倫理綱領、介護福祉士法の義務規定、個人の尊厳について整理する。	60分
第4回	第1章第1節医療的ケア 医療的ケアと喀痰吸引等の背景 喀痰吸引等研修と介護福祉士養成課程における医療的ケア テキストP21～27	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】介護福祉職による喀痰吸引等制度と医療的ケアについて整理する。	60分
第5回	第1章第1節医療的ケア 医療的ケアを取り巻くその他の制度 介護保険法 障害者総合支援法 テキストP28～35	
	【予習】社会保障論で学習した制度について復習してくる。	90分
	【復習】医療的ケアを取り巻くその他の制度について整理する。	60分
第6回	第1章第2節安全な療養生活 喀痰吸引や経管栄養を提供する重要性 リスクマネジメントの考え方と枠組み ヒヤリハット・アクシデント P37～P44	
	【予習】介護福祉論 で学習した介護における安全の確保とリスクマネジメントについて復習してくる。	90分
	【復習】安全に喀痰吸引を行う重要性、リスクマネジメントの必要性を再確認する。ヒヤリハットとアクシデントの違いを整理する。	60分
第7回	第1章第3節清潔保持と感染予防 感染予防の基礎知識と正しい手洗い方法 うがい方法について テキストP62～67	
	【予習】介護福祉論 で学習した感染症対策について復習してくる。	90分
	【復習】感染を予防する標準予防策について整理する。	60分
第8回	第1章第3節清潔保持と感染予防 介護福祉職自身の健康管理と感染予防 P68～71	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、介護職の健康管理について理解する。	90分
	【復習】予防接種の種類、ケア内容と防護の必要性について整理しておく。	60分
第9回	第1章第3節清潔保持と感染予防 療養環境の清潔と消毒法 滅菌と消毒 テキストP71～77	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】消毒と滅菌の違い、消毒剤の使い方と留意点を整理しておく。	60分
第10回	第1章第4節健康状態の把握 身体・精神の平常状態 バイタルサイン テキストP79～86	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、バイタルサインについて調べておく。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、自分の体温、脈拍をチェックしてみる。	60分

第11回	第1章第4節 健康状態の把握 急変状態 急変時の対応と事前準備 テキストP87～89	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、急変状態とその対応について整理しておく。	60分
第12回	第2章喀痰吸引 第1節高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 呼吸のしくみとはたらき いつもと違う呼吸状態 テキストP94～99	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、呼吸のしくみを調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、いつもと違う呼吸状態について整理する。	60分
第13回	第2章第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 喀痰吸引とは テキストP100～104	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、わからない点を確認してくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、喀痰吸引とはどのようなものか説明できるようにする。	60分
第14回	第2章第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 人工呼吸器と吸引 P104～112	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、わからない点を確認してくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	60分
第15回	第2章第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 人工呼吸器装着者の生活上の留意点 人工呼吸器装着者の呼吸管理に関する医師・看護職との連携 テキストP113～116	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、人工呼吸器装着者の生活上の留意点について整理する。	60分
第16回	第2章第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 子どもの吸引 吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応 説明と同意 P118～123	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、子どもの吸引について整理し、子ども及び保護者の気持ちと対応をまとめて書く。	60分
第17回	第2章第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 呼吸器系の感染と予防 喀痰吸引により生じる危険、事後の安全管理 テキストP123～132	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、吸引時に想定されるトラブルと対応事例について整理する。	60分
第18回	第2章第1節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論 急変・事故発生時の対応と事前対策 まとめ テキストP132～138	
	【予習】喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認について復習してくる。	90分
	【復習】第1節を振り返り、喀痰吸引の基礎的知識を整理しておく。	60分
第19回	第2章第2節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順 喀痰吸引実施の手順と留意点1 テキストP138～154	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、喀痰吸引前の観察項目についてわからないことは調べて記録する。	60分
第20回	第2章第2節 高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説 喀痰吸引の実施手順と留意点2 P138～154	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、吸引の実施手順について整理する。	60分

第21回	第2章第2節高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説 喀痰吸引にともなうケア 報告および記録 P154～159	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、喀痰吸引におけるケアについて整理する。	60分
第22回	第3章 第1節 経管栄養概論 消化器系のしくみと働き P164～170 松居 2 2回～3 3回	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、図3-1や簡略な消化器系統図を書く。	60分
第23回	第3章 第1節 経管栄養概論 消化器系の主な症状 P170～171	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、消化器のしくみをまとめる。	60分
第24回	第3章 第1節 経管栄養概論 経管栄養とは P172～177	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	60分
第25回	第3章 第1節 経管栄養概論 経管栄養の実施上の留意点 P178～181	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、復習課題を実施する。	60分
第26回	第3章 第1節 経管栄養概論 子どもの経管栄養 P181～183	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、成人との違いを考える。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	60分
第27回	第3章 第1節 経管栄養概論 経管栄養に関する感染と予防、利用者・家族の対応、同意と説明 P184～188	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、復習課題を実施する。	60分
第28回	第3章 第1節 経管栄養概論 危険、注入後の安全確認 急変・事故発生時の対応と事前対策 P188～195	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、わからないところを出してくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、復習課題を実施する。	60分
第29回	第3章 第2節 経管栄養実施手順解説 器具・器材のしくみ、清潔の保持 技術と留意点 P200～210	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、分からなかった点を抜き書きする。	60分
第30回	第3章 第2節 経管栄養実施手順解説 器具・器材のしくみ、清潔の保持 技術と留意点 P212～215	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、復習課題を実施する。	60分

第31回	第3章 第2節 経管栄養実施手順解説 経管栄養に必要なケアと報告・記録 P215～219	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、経管栄養についてまとめる。	60分
第32回	第1章 第2節安全な療養生活 救急蘇生 救急蘇生法 必要物品の準備 P44～57	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、デモンストレーションを実施する。	60分
第33回	第1章 第2節安全な療養生活 救急蘇生 救急蘇生法 AED P49～59	
	【予習】テキストの該当箇所を音読し、分からない用語を調べてくる。	90分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、復習課題を実施する。	60分
第34回	まとめ 医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引、経管栄養についての基礎的知識についてまとめる。	
	【予習】学習したこと全体を復習し、疑問点を出す。	90分
	【復習】期末試験に備えまとめる。	60分

授業科目名	医療的ケア			科目コード	W113-11				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 医療的ケア	担当教員名	中島 眞由美 松居 紀久子						
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉士）として社会福祉事務所及び保健所等に勤務し政策立案をはじめ医療的ケアが必要な障害児・者、高齢者等の支援をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。看護師・介護支援専門員として大学病院1								
開講時期	2年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	医療的ケア	後継科目							
関連科目	こころとからだのしくみ ・ ・ ・ 、感染予防とリスクマネジメント								
資格等 取得との関連	介護福祉士必須科目								
授業の概要	喀痰吸引及び経管栄養について、根拠に基づき安全かつ確実に実施できるよう、シミュレーターを用いて学習します。また、救急蘇生をデモンストレーションに見て、手引きに基づき実施します。								
学習目標	1 医療的ケアを安全適切に実施するために基礎的な知識・技術に基づき確実な実施ができる。 たんの吸引をシミュレーターを用いて効果的に安全にできる。 経管栄養をシミュレーターを用いて効果的に安全にできる。 2 救急蘇生法をシミュレーターを用いて効果的に安全にできる。								
キーワード	医療的ケア たんの吸引 経管栄養 救急蘇生法 介護業務								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成テキスト「医療的ケア」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医療的ケアを安全に効果的に実施する上で必要な知識を有している。								
LO-2	医療的ケアを安全・適切に実施するための技能を有しており、5回以上実施手順に基づき全工程を実施できる。								
LO-3	利用者の状態に応じた医療的ケアについて考え判断することができる。								
LO-4	医療的ケアを学ぶ意義を理解し、積極的に技術を身に付ける意欲がある。								
LO-5	医療的ケアをシミュレーターを用いてグループメンバー同士で協力し合い円滑に進むよう行動できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			30		50	20			100
LO-1			20						20
LO-2					50				50
LO-3			10						10
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他Aについては、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業の参加態度に点数をつける。授業アンケートでの質問は必要に応じ次回授業で全体で共有する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	喀痰吸引演習1 口腔内吸引・鼻腔内吸引のデモンストレーション 必要物品、手順の確認	
	【予習】医療的ケア を復習してくる。	30分
	【復習】本日実施したおことを振り返り、わからなかったこと、できなかったことを確認しておく。	30分
第2回	喀痰吸引演習2 口腔内吸引・鼻腔内吸引を一人ずつチェックリストに基づき2回以上実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第3回	喀痰吸引演習3 口腔内吸引・鼻腔内吸引を一人ずつチェックリストに基づき2回以上実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第4回	喀痰吸引演習4 口腔内吸引・鼻腔内吸引まとめ 一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】実施手順に基づき練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第5回	喀痰吸引演習5 気管カニューレ内部の吸引デモンストレーション 必要物品・手順の確認	
	【予習】医療的ケア を復習してくる。	30分
	【復習】本日学習した内容を振り返り、わからなかったこと、できなかったことをまとめておく。	30分
第6回	喀痰吸引演習6 気管カニューレ内部の吸引を一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】実施手順に基づき練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第7回	喀痰吸引演習7 気管カニューレ内部の吸引を一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第8回	喀痰吸引演習8 気管カニューレ内部の吸引まとめ 一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第9回	救急蘇生法 救急蘇生法の演習	
	【予習】応急手当WEB講習を受講し修了書を11月2日まで提出する	30分
	【復習】授業を振り返りわからなかったところを整理する。	30分
第10回	救急蘇生法 救急蘇生法の演習	
	【予習】教科書を読んでくる。	30分
	【復習】授業を振り返りわからなかったところを整理する。	30分

第11回	経管栄養演習1 胃ろうデモンストレーション 必要物品、手順の確認	
	【予習】医療的ケアを復習してくる。	30分
	【復習】本日実施したことを振り返り、わからなかったこと、できなかったことを確認しておく。	30分
第12回	経管栄養演習2 胃ろうのケアを一人ずつチェックリストに従い12回以上実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習をしてくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第13回	経管栄養演習3 胃ろうのケアを一人ずつチェックリストに基づき2回以上実施する。	
	【予習】実施手順に従い練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき、振り返る。	30分
第14回	経管栄養演習4 胃ろうのケアまとめ 口腔内・喀痰吸引を一人ずつチェックリストに従い実施する。	
	【予習】実施手順に従い、練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票の基づき、振り返る。	30分
第15回	経管栄養演習5 経鼻経管栄養のケアデモンストレーション 一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】医療的ケア で学んだことを復習してくる。	30分
	【復習】本日学習したことを振り返り、わからなかったこと、できなかったことをまとめておく。	30分
第16回	経管栄養演習6 経鼻経管栄養のケアを一人ずつチェックリストに基づき2回以上実施する。	
	【予習】実施手順に従い、練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第17回	経管栄養演習7 経鼻経管栄養のケアを一人ずつチェックリストに基づき実施する。	
	【予習】実施手順に基づき練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分
第18回	経管栄養演習8 経鼻経管栄養のケアまとめ 一人ずつチェックリストにもとづき実施する。	
	【予習】実施手順に基づき練習してくる。	30分
	【復習】自己評価票に基づき振り返る。	30分

授業科目名	高齢者福祉論			科目コード	W121-20				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - 人間と社会		担当教員名	関 好博					
実務経験	高岡市社会福祉協議会に17年間勤務。ボランティア活動や福祉教育、地域福祉活動の担当を歴任。事業部門一筋で積み重ねてきた経験と知識を、他の高齢者福祉論や障害者福祉論、ボランティア演習等でも生かしていきたい。								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	社会保障論		後継科目						
関連科目	障害者福祉論、地域福祉論 ・ 、ソーシャルワークの理論と方法								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格								
授業の概要	高齢者福祉及び権利擁護等の制度・施策について、介護実践に必要な観点から、基礎的な知識を習得する学習とする。また、高齢者福祉及び権利擁護等の制度・施策について、介護実践に必要な観点から、基礎的な知識を習得する学習とする。								
学習目標	<p>高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。</p> <p>高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について理解する。</p> <p>高齢者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する。</p>								
キーワード	老老介護、ダブルケア、8050問題、高齢者虐待、敬老思想、エイジズム、介護保険法、								
テキスト・ 参考書等	最新 社会福祉士養成講座2 高齢者福祉								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識／理解力】高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について理解できるとともに、法制度や支援の仕組みを理解できる。								
LO-2	【技術・実践力】高齢者介護に関係する技術や実践力に関する能力・技術を備える。								
LO-3	【分析・判断力】高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について考える能力を有している。								
LO-4	【関心・意欲・態度】社会の状況や高齢者福祉の動向などに関心をもち、専門職として意欲的な態度をもつことができる。								
LO-5	【全人的総合力】超高齢社会における福祉専門職に求められる人間性・社会性を有している。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		30			10			100
LO-1	60								60
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4						10			10
LO-5			10						10
備考	評価方法「その他」は、授業態度全般での評価です。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	高齢者の定義と特性、高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境（その1）高齢者の生活実態	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第2回	高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境（その2）高齢者を取り巻く社会環境、	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第3回	高齢者福祉の歴史（高齢者福祉の理念、高齢者観の変遷、高齢者福祉制度の発展過程）	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第4回	高齢者に対する法制度（その1）介護保険法	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第5回	高齢者に対する法制度（その2）老人福祉法、高齢者の医療の確保に関する法律、高齢者虐待防止法	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第6回	高齢者に対する法制度（その3）バリアフリー新法、高齢者住まい法、高齢者雇用安定法、育児・介護休業法	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第7回	高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割（その1）高齢者と家族等の支援における関係機関の役割	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第8回	高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割（その1）高齢者と家族等の支援における関係機関の役割	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第9回	高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割（その2）関連する専門職等の役割	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第10回	高齢者と家族等に対する支援の実際（その1）高齢者領域における社会福祉士の役割	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分

第11回	高齢者と家族等に対する支援の実際（その2）2 高齢者と家族等に対する支援の実際（多職種連携含む）	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第12回	個人の権利を守る制度の概要	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第13回	地域生活を支援する制度や施策の概要（生活困窮者自立支援法、認知症施策、災害要援護者対策、自殺対策など）	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第14回	介護と関連領域との連携に必要な制度、生活保護制度の概要	
	【予習】テキストの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第15回	これまでのまとめとふりかえり	
	【予習】テキストとノートの該当箇所を読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分

授業科目名	障害者福祉論			科目コード	W121-30				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - 人間と社会		担当教員名	関 好博					
実務経験	高岡市社会福祉協議会に17年間勤務。ボランティア活動や福祉教育、地域福祉活動の担当を歴任。事業部門一筋で積み重ねてきた経験と知識を、他の高齢者福祉論や障害者福祉論、ボランティア演習等でも生かしていきたい。								
開講時期	2年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)	障害者ケア論		後継科目						
関連科目	社会保障論、障害者ケア論、医療的ケア								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格								
授業の概要	障害者総合支援法や障害者の福祉・介護に係る他の法制度について理解します。障害者福祉制度の発展過程についても学びます。また、障害者の生活実態とこれを取り巻く社会情勢や福祉・介護需要（地域移行や就労の実態を含む。）について理解を持ちます。								
学習目標	障害の概念と特性を踏まえ、障害者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境について理解する。 障害者福祉の歴史と障害観の変遷、制度の発展過程について理解する。 障害者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する。 障害による生活課題を踏まえ、社会福祉士及び精神保健福祉士としての適切な支援のあり方を理解する。								
キーワード	障害者総合支援法、障害者基本計画								
テキスト・ 参考書等	中央法規 最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 8 障害者福祉								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識 / 理解力】障害者福祉の経緯や障害者観の変遷、制度の発展過程などを理解できる。								
LO-2	【技術・実践力】障害者に対する法制度と支援の仕組みを説明できる。								
LO-3	【分析・判断力】障害の概念と特性を踏まえ、障害者とその家族の生活とこれを取り巻く社会環境のあり方について考えることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】障害者の福祉・介護需要の実態や、障害者の地域移行や就労の実態など広く関心を深められる。								
LO-5	【全人的総合力】社会的包摂の社会における福祉専門職に求められる人間性・社会性を有している。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70			30			100
LO-1			30						30
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4			10			30			40
LO-5			10						10
備考	「その他」は授業態度などの評価です。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	障害概念と特性：国際生活機能分類（ICF）、障害者の定義と特性（身体障害（肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、内部障害、難病等）・知的障害・精神障害・発達障害）	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、わからない用語は調べておく。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第2回	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境：障害者の生活実態（地域移行・居住・就学・就労・高齢化・介護需要・障害者の芸術、スポーツ）	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第3回	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境：障害者を取り巻く社会環境（バリアフリー・コンフリクト・障害者虐待・親亡き後問題、きょうだいへの支援）	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第4回	障害者福祉の歴史：障害者福祉の理念（ノーマライゼーション・ソーシャルインクルージョン）、障害観の変遷（偏見と差別・障害者の権利条約の批准の経緯・障害者基本法の変遷）、障害者処遇の変遷（明治以前の障害者の処遇・明治以降の障害者の処遇・戦後の障害者の処遇）	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。障害者を取り巻く4つの障壁に関して、具体例を考えてくる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第5回	障害者福祉の歴史：障害者の権利条約と障害者基本法（障害者の権利条約の概要・障害者基本法の概要）、障害者福祉制度の発展過程	
	【予習】テキストの該当箇所をよく読んでくる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第6回	障害者に対する法制度：障害者総合支援法（障害者総合支援法の概要・障害福祉サービス及び相談支援・障害支援区分及び支給決定・自立支援医療・補装具・地域生活支援事業・障害福祉計画）	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第7回	自立支援医療、地域生活支援事業、苦情解決、審査請求、その他	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第8回	国・市町村・都道府県の役割、	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第9回	指定サービス事業者の役割、国民健康保険団体連合会の役割、労働関係機関の役割、教育機関の役割	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第10回	相談支援専門員の役割、サービス管理責任者の役割、居宅介護従業者の役割	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分

第11回	医療関係者との連携、精神保健福祉士との連携、障害程度区分判定時における連携、サービス利用時における連携、労働関係機関関係者との連携、教育機関関係者との連携	
	【予習】資料を復習してくる。	90分
	【復習】資料・ノートを整理する。	90分
第12回	相談支援事業所の組織体系、相談支援事業所の活動の実際	
	【予習】難病の種類を予習してくる。	90分
	【復習】国試ナビを使っておさらいしておく。	90分
第13回	身体障害者福祉法の概要、知的障害者福祉法の概要、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の概要	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分
第14回	発達障害者支援法の概要、障害者基本法の概要、心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律の概要	
	【予習】テキストをよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分
第15回	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律の概要、障害者の雇用の促進等に関する法律の概要	
	【予習】説明できない語句を調べる。	90分
	【復習】定期試験にむけて資料・ノートを確認する。	90分

授業科目名	児童家庭福祉論			科目コード	W121-40				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - 人間と社会		担当教員名	明柴 聡史					
実務経験	保育所保育士、児童養護施設保育士、心理担当職員、家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、基幹的職員								
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	社会福祉論		後継科目						
関連科目	社会福祉論								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	「子ども家庭福祉の意義と歴史」「子ども家庭福祉の制度と実施体制」「子ども家庭福祉の現状と課題」を柱として、子ども家庭福祉全体について現実を踏まえながら考察を進める。テキストを基本としつつ、最新の資料や参考文献等を随時提示する。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について、自ら考察を深めることを希望する。								
学習目標	児童のウェルビーイング（幸せ）を実現するための活動の総体である児童家庭福祉の理念・制度・方法について学び、児童家庭福祉専門職としての保育士に必要な基本的事項について理解することを目標とする。								
キーワード	子ども、家庭、ひとり親家庭、子どもの権利、児童虐待、社会的養護								
テキスト・ 参考書等	テキスト：立花直樹・波田埜英治編著『児童家庭福祉論』（ミネルヴァ書房） 参考書：『保育福祉小六法』（みらい）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 子ども家庭福祉の理念や制度について基本的事項を理解し、主な施策分野毎の現状と課題を説明することができる。								
LO-2	【技能】児童福祉の対象者にかかわる技能(寄り添うなど)を学ぶ								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 児童家庭福祉の動向や展望を踏まえ、問題解決のための方策について、考察を深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 児童のウェルビーイング（幸せ）や権利保障に高い関心を持ち、自らもその実現に向けて努力しようとする。								
LO-5	【社会性・人間性】 価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら、自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために、他者と協働することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		30			20			100
LO-1	20		6						26
LO-2	10		6						16
LO-3	10		6						16
LO-4	10		6			10			26
LO-5			6			10			16
備考	その他Aは平常点（授業参加態度及び毎回の出席カードによる質問・意見・感想の評価） 定期試験については、実施後模範解答を示し、設問について解説する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針の説明 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する 児童家庭福祉の基本構造について学ぶ あなたは子ども？	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する / テキスト序章を読み、児童家庭福祉の視点について確認する	30分
	【復習】授業の全体像について確認する / 児童家庭福祉の基本構造や視点について、授業内容を確認し、理解を深める 用語の定義を整理する	60分
第2回	児童家庭福祉とは 子ども・家庭・福祉とは何か	
	【予習】5月8日4限クラスアワー 児童と家庭を取り巻く現状の概要をテキスト第1章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童と家庭を取り巻く現状について、授業内容を確認し、理解を深める / 第1章<まとめてみよう>	90分
第3回	児童と家庭・社会～子育てのいま・未来	
	【予習】児童と家庭を取り巻く現状の概要をテキスト第1章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子育ての今後の課題を振り返る	90分
第4回	児童の権利に関する条約について 権利保障、権利擁護の取り組みを理解する。	
	【予習】児童家庭福祉の理念の中核である「子どもの権利保障」の概要をテキスト第2章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子どもの権利保障について、授業内容を確認し、理解を深める / 第2章<まとめてみよう>	90分
第5回	児童家庭福祉の意義と歴史 児童家庭福祉の歴史 欧米の児童家庭福祉 日本の児童家庭福祉	
	【予習】児童家庭福祉の歴史の概要をテキスト第3章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童家庭福祉の歴史について、授業内容を確認し、理解を深める / 第3章<まとめてみよう>	90分
第6回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(1)：児童家庭福祉の制度と法体系 児童福祉法 / 児童家庭福祉に関する法律	
	【予習】児童福祉法と児童家庭福祉関係法律の概要をテキスト第4章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童福祉法及び関係法律と制度について、授業内容を確認し、理解を深める / 第4章<まとめてみよう>	90分
第7回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(2)：児童家庭福祉行政と実施機関 児童家庭福祉の行政 / 児童家庭福祉の実施機関と施設	
	【予習】児童家庭福祉行政と実施機関の概要をテキスト第5章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】児童家庭福祉行政と実施機関について、授業内容を確認し、理解を深める / 第5章<まとめてみよう>	90分
第8回	児童家庭福祉の行政と実施機関	
	【予習】子育て支援サービスと健全育成施策の概要をテキスト第6章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】 子育て支援サービスと健全育成施策の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第6章<まとめてみよう>	90分
第9回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：母子保健サービス 母子保健の理念 / 母子保健サービスの実施と体系 / 母子保健の取り組み	
	【予習】 母子保健サービスの概要をテキスト第7章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】母子保健サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第7章<まとめてみよう>	90分
第10回	「児童家庭福祉施設の利用と措置、保育・教育施設と幼保一体化」保育サービス 少子化と働き方改革 保育サービス・子育て支援サービス	
	【予習】保育サービスの概要をテキスト、参考文献等で確認する	60分
	【復習】保育サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / <まとめてみよう> 保育所の設備及び運営に関する基準(最低基準)を見定める。	90分

第11回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス） 児童虐待 DV（ドメスティック・バイオレンス）	
	【予習】児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス）の概要をテキスト第9章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス）の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第9章 <まとめてみよう>	90分
第12回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：社会的養護 社会的養護とは 代替的養護 社会的養護の状況と今後	
	【予習】 社会的養護の概要をテキスト第11章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】社会的養護の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第10章 <まとめてみよう>	90分
第13回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：ひとり親家庭への福祉 ひとり親家庭の現状と生活状況 ひとり親家庭福祉サービスの概要	
	【予習】 ひとり親家庭への福祉の概要をテキスト第11章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】ひとり親家庭への福祉の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第11章 <まとめてみよう>	90分
第14回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：障害のある子どもの福祉 「障害」観 障害児の定義と現状 障害児への福祉施策	
	【予習】障害のある子どもの福祉の概要をテキスト第12章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第13章 <まとめてみよう>	90分
第15回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：情緒障害・少年非行問題 情緒障害 少年非行	
	【予習】情緒障害・少年非行問題の概要をテキスト第13章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第13章 <まとめてみよう>	90分

授業科目名	地域福祉論			科目コード	W122-10				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - ソーシャルワーク		担当教員名	関 好博					
実務経験	高岡市社会福祉協議会に17年間勤務。ボランティア活動や福祉教育、地域福祉活動の担当を歴任。事業部門一筋で積み重ねてきた経験と知識を、他の高齢者福祉論や障害者福祉論、ボランティア演習等でも生かしていきたい。								
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	社会保障論	後継科目	地域福祉論						
関連科目	障害者福祉論、高齢者福祉論、児童家庭福祉論、ボランティア演習、ソーシャルワークの理論と方法								
資格等 取得との関連	社会福祉主事(任用資格)指定科目(選択)、社会福祉士指定科目(選択)								
授業の概要	我が国の社会福祉の推進目的とされる地域福祉に関して、国の政策「地域共生社会の推進」と併せて理解できるよう、テキストをもとに講義を行いながら、事例紹介を交えて進めていく。								
学習目標	地域福祉の基本的考え方について理解できる。地域福祉の主体と対象について理解する。地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する。地域福祉におけるネットワーキングの意義と方法及びその実際について理解する。地域福祉の推進方法について理解する。								
キーワード	小地域福祉活動、地区社会福祉協議会、地域共生社会、								
テキスト・ 参考書等	中央法規：最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座6 地域福祉と包括的支援体制								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	地域福祉の基本的な考え方、展開、動向などに関する基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	地域福祉における主体と対象を理解し、住民の主体形成を進めるための必要な技術・技能を身につけている。								
LO-3	地域福祉計画をはじめとする福祉計画の意義・目的及び展開の思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	包括的支援体制の考え方と多職種及び多機関協働の意義と実際について主体的に学ぶことができる。								
LO-5	地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支援体制における相談援助職の役割に対する見識を備えている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70			30			100
LO-1			30						30
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4			10			30			40
LO-5			10						10
備考	編入学希望者以外も履修できます。「その他」の評価は授業態度です。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	地域社会の概念と理論、地域社会の変化	
	【予習】教科書の読み込み	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる	90分
第2回	多様化・複雑化した地域生活課題の現状とニーズ(1)	
	【予習】教科書の該当ページを読む	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる	90分
第3回	多様化・複雑化した地域生活課題の現状とニーズ(2)、地域福祉と社会的孤立	
	【予習】教科書の該当ページを読む	90分
	【復習】授業の内容をノートにまとめる	90分
第4回	地域包括ケアシステム、生活困窮者自立支援の考え方(1)	
	【予習】教科書の該当ページを読む	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる	90分
第5回	生活困窮者自立支援の考え方(2)、包括的支援体制とは	
	【予習】教科書の該当ページを読む	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる	90分
第6回	包括的支援体制とは、地域共生社会の構築とは、地域共生社会の実現に向けた各種施策	
	【予習】教科書の該当ページを読む	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる	90分
第7回	地域福祉ガバナンス、多機関協働を促進する仕組み	
	【予習】教科書の該当ページを読む	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる	90分
第8回	多職種連携、	
	【予習】教科書の該当ページを読む	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる	90分
第9回	福祉以外の分野との機関協働の実際	
	【予習】テキストの該当箇所を熟読してくる。	90分
	【復習】授業のノートでふり返りをする。	90分
第10回	地域福祉実践の事例紹介(氷見市社会福祉協議会より)	
	【予習】氷見市社協のホームページを読む	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる	90分

第11回	地域福祉の概念と理論	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、考えを深めてくる。	90分
	【復習】テキストとノートで振り返りをしておく。	90分
第12回	地域福祉の歴史、地域福祉の動向	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、考えを深めてくる。	90分
	【復習】テキストとノートで振り返りをしておく。	90分
第13回	地域福祉の推進主体	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで考えを深めてくる。	90分
	【復習】テキストとノートで振り返りをしておく。	90分
第14回	地域福祉の主体と福祉教育	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで考えを深めてくる。	90分
	【復習】テキストとノートで振り返りをしておく。	90分
第15回	これまでのまとめ	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで考えを深めてくる。	90分
	【復習】テキストとノートで振り返りをしておく。	90分

授業科目名	地域福祉論			科目コード	W122-11				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - ソーシャルワーク		担当教員名	関 好博					
実務経験	高岡市社会福祉協議会に17年間勤務。ボランティア活動や福祉教育、地域福祉活動の担当を歴任。事業部門一筋で積み重ねてきた経験と知識を、他の高齢者福祉論や障害者福祉論、ボランティア演習等でも生かしていきたい。								
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	社会保障論、地域福祉論		後継科目	なし					
関連科目	障害者福祉論、高齢者福祉論、児童家庭福祉論、ボランティア演習、地域福祉論、ソーシャルワークの理論と方法								
資格等 取得との関連	社会福祉主事(任用資格)指定科目(選択)、社会福祉士指定科目(選択)、								
授業の概要	我が国の社会福祉の推進目的とされる地域福祉に関して、国の政策「地域共生社会の推進」と併せて理解できるよう、テキストをもとに講義を行いながら、事例紹介を交えて進めていく。								
学習目標	地域福祉の基本的考え方について理解できる。地域福祉の主体と対象について理解する。地域福祉に係る組織、団体及び専門職の役割と実際について理解する。地域福祉におけるネットワーキングの意義と方法及びその実際について理解する。地域福祉の推進方法について理解する。								
キーワード	小地域福祉活動、地区社会福祉協議会、地域共生社会、								
テキスト・ 参考書等	中央法規：最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座6 地域福祉と包括的支援体制								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	地域福祉の基本的な考え方、展開、動向などに関する基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	地域福祉における主体と対象を理解し、住民の主体形成を進めるための必要な技術・技能を身につけている。								
LO-3	地域福祉計画をはじめとする福祉計画の意義・目的及び展開の思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	包括的支援体制の考え方と多職種及び多機関協働の意義と実際について主体的に学ぶことができる。								
LO-5	地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支援体制における相談援助職の役割に対する見識を備えている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			70			30			100
LO-1			30						30
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4			10			30			40
LO-5			10						10
備考	地域福祉論 と での通年科目として履修してください。「その他」では授業態度を観ます。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	地域を基盤としたソーシャルワークの方法	
	【予習】テキストの知らない用語について調べてくる。	90分
	【復習】授業で取り上げた内容に合致する動画や新聞記事などを探し、さらに学びを深める。	90分
第2回	住民の主体形成に向けたアプローチ	
	【予習】初出や不明な用語は調べてくる。	90分
	【復習】福祉教育について、配布資料も参考にしながらまとめてみる。	90分
第3回	地域福祉の具体的な展開	
	【予習】テキストの事例を読み込んでくる	90分
	【復習】自分なりに必要だと（不足している）と感じた情報はないか、整理しておく。	90分
第4回	地域福祉実践の事例紹介（富山型デイサービスについて）	
	【予習】YouTubeで富山型デイをキーワードに、各地の事例を検索して視聴してくる。	90分
	【復習】紹介事例に関連した動画や記事を探して、学びを深める。	90分
第5回	非常時や災害時における法制度、	
	【予習】災害時における介護福祉士の取組みなどを調べてくる。	90分
	【復習】紹介事例に関連した動画や記事を探して、学びを深める。	90分
第6回	非常時や災害時における総合的かつ包括的な支援	
	【予習】福祉避難所について調べてくる。	90分
	【復習】1年次のボランティア演習で学んだ災害救援ボランティアについて振り返りをしておく。	90分
第7回	福祉計画の定義と目的、機能と歴史的展開。市町村地域福祉計画・都道府県地域福祉支援計画の内容	
	【予習】教科書の該当ページに目を通してくる	90分
	【復習】今日の内容の教科書の読み込みとまとめを行っておく。	90分
第8回	福祉計画の策定過程と方法、福祉計画におけるニーズ把握の方法・技術	
	【予習】教科書の該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】福祉計画についてのまとめを行う。	90分
第9回	福祉計画における評価、富山県における地域福祉活動の取組み	
	【予習】教科書の該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】富山県の地域福祉活動の取組みをまとめておく。	90分
第10回	福祉行財政システム（国、都道府県、市町村の役割）	
	【予習】教科書の該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】テキストとノートで振り返りをし、まとめておく。	90分

第11回	国と地方の関係、福祉行政の組織および専門職の役割	
	【予習】教科書の該当ページを読んでくる	90分
	【復習】授業内容を自分なりにノートにまとめる。	90分
第12回	福祉における財源	
	【予習】教科書の該当ページを読んでくる	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる	90分
第13回	地域福祉実践の実際（ビデオ学習）	
	【予習】これまでの授業をふり返っておく	90分
	【復習】学習した内容をノートにまとめる	90分
第14回	社会福祉協議会の役割と取組み	
	【予習】指定された動画を視聴してくる	90分
	【復習】学習した内容をノートにまとめる	90分
第15回	全体のふり返り	
	【予習】これまでに配布した資料に目を通してくる	90分
	【復習】学習してきた内容をレポートにまとめる	90分

授業科目名	ソーシャルワークの理論と方法-1			科目コード	W122-20				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - ソーシャルワーク		担当教員名	村上 満					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	生活と社会		後継科目						
関連科目	社会保障論								
資格等 取得との関連	社会福祉士受験資格								
授業の概要	人権の尊重、権利擁護、自立支援等の観点を踏まえながら、相談援助（ソーシャルワーク）活動をしていく上での基本的なコミュニケーションや人との円滑な付き合い方等といった信頼関係の形成を図るための基盤となる理論を通して、相談援助の一連の過程（インテークからアフターケアまで）とそれに係る知識と面接技術について理解する。								
学習目標	相談援助（ソーシャルワーク）活動について、具体的に説明することができる。 相談援助の構造と機能について、分かりやすく答えることができる。 相談援助における展開過程について、系統立てて説明することができる。								
キーワード	社会福祉士 相談援助 ソーシャルワーク 各種アプローチ								
テキスト・ 参考書等	『相談援助の理論と方法』社会福祉士養成講座編集委員会（中央法規） ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法』ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人間理解力ならびに相談援助の専門性についての理解力を獲得している。								
LO-2	社会福祉援助技術に関する技能を修得できている。								
LO-3	相談援助分野で有効な思考・判断・表現の能力と技術を身につけている。								
LO-4	他者に共感でき、相手の立場で考えられる姿勢を身につけている。また、円滑なコミュニケーションの取り方を身につけ、他者と協調、協働して行動することができる。								
LO-5									
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		100							100
LO-1		25							25
LO-2		25							25
LO-3		25							25
LO-4		25							25
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション・相談援助とは ソーシャルワークの定義について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	相談援助とは ソーシャルワークの役割について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	相談援助の構造と機能 ソーシャルワークの構造について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	相談援助の構造と機能 ソーシャルワークの機能について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	相談援助における援助関係 援助関係の意義について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	相談援助における援助関係 援助関係の質と自己覚知	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	相談援助の展開過程 相談援助のプロセス	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	相談援助の展開過程 ケース発見からインテークまで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	相談援助の展開過程 問題把握からアセスメントまで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	相談援助の展開過程 支援目標の設定から支援の計画まで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	相談援助の展開過程 支援の実施から経過観察まで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	相談援助の展開過程 再アセスメントと支援目標の再設定まで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	相談援助の展開過程 支援の終結とアフターケアまで	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	相談援助の展開過程 予防的対応とサービス開発について	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	前期の振り返りとまとめ これまでの総まとめ	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	ソーシャルワークの理論と方法-2			科目コード	W122-21				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - ソーシャルワーク		担当教員名	村上 満					
実務経験									
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	生活と社会		後継科目						
関連科目	社会保障論、								
資格等 取得との関連	社会福祉士受験資格								
授業の概要	人権の尊重、権利擁護、自立支援等の観点を踏まえながら、相談援助（ソーシャルワーク）活動をしていく上での基本的なコミュニケーションや人との円滑な付き合い方等といった信頼関係の形成を図るための基盤となる理論を通して、相談援助の一連の過程（インテークからアフターケアまで）とそれに係る知識と面接技術について理解できる。								
学習目標	相談援助（ソーシャルワーク）活動について、具体的に説明することができる。 相談援助の構造と機能について、分かりやすく答えることができる。 相談援助における展開過程について、系統立てて説明することができる。								
キーワード	社会福祉士 相談援助 ソーシャルワーク 各種アプローチ								
テキスト・ 参考書等	『相談援助の理論と方法』社会福祉士養成講座編集委員会（中央法規） ミネルヴァ書房編集部編『社会福祉小六法』ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人間理解力ならびに相談援助の専門性についての理解力を獲得している。								
LO-2	社会福祉援助技術に関する技能を修得できている。								
LO-3	相談援助分野で有効な思考・判断・表現の能力と技術を身につけている。								
LO-4	他者に共感でき、相手の立場で考えられる姿勢を身につけている。また、円滑なコミュニケーションの取り方を身につけ、他者と協調、協働して行動することができる。								
LO-5									
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		100							100
LO-1		25							25
LO-2		25							25
LO-3		25							25
LO-4		25							25
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	相談援助のためのアウトリーチの技術 アウトリーチの意義と目的	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	相談援助のためのアウトリーチの技術 アウトリーチの方法と留意点	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	相談援助のための契約の技術 契約の意義と目的	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	相談援助のための契約の技術 契約の方法と留意点	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	相談援助のためのアセスメントの技術 アセスメントの特性	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	相談援助のためのアセスメントの技術 アセスメントで得た情報の使い方	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	相談援助のための介入の技術 介入の意義と目的	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	相談援助のための介入の技術 介入の方法と留意点	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	相談援助の展開過程における技術 経過観察、再アセスメントの技術	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	相談援助の展開過程における技術 効果測定、評価とサービス開発の技術	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	相談援助のための面接の技術 面接の目的と展開	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	相談援助のための面接の技術 面接におけるコミュニケーション	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	相談援助のための記録の技術 記録の意義と活用	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	相談援助のための記録の技術 記録の方法と今後の課題	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	相談援助のための交渉の技術 交渉の意義とプレゼンテーション	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	福祉ビジネス			科目コード	W131-10				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野	担当教員名	小平 達夫						
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目	介護福祉経営論、介護事務概論、介護事務演習、医療事務概論、医療事務演習								
資格等 取得との関連	介護福祉経営士2級								
授業の概要	安定した介護福祉事業経営を実現し、より良質な介護福祉サービスを提供すること、さらに介護保険だけではカバーできない地域ニーズに対応する新しいサービスを開発するなど、介護福祉を基盤とした改革を進めるために、「介護福祉経営士」の合格を目指すものである。								
学習目標	介護福祉経営に関して法制度、財務会計、リスクマネジメント、コンプライアンス、人材育成など多岐にわたる知識が必要となすが、その基本的知識を修得する。								
キーワード	・日本及び海外の介護保険制度・経営の視点から見る介護保険、・人員設備運営基準、介護福祉経営士への期待								
テキスト・ 参考書等	介護福祉経営士テキスト1（基礎編）介護福祉政策概論								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護福祉経営士として介護福祉士経営に関する基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	介護福祉経営士として介護福祉士経営に求められる基礎的な技能を身につけている。								
LO-3	介護福祉経営士として介護福祉士経営に関する有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	介護福祉経営士として介護福祉士経営においてその動向に関心を向けることができる。福祉ビジネスの視点より人の幸せについて主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種・性別・障害等の有無にかかわらずすべての人を受容し共感できる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			75			25			100
LO-1			15			5			20
LO-2			15			5			20
LO-3			15			5			20
LO-4			15			5			20
LO-5			15			5			20
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。 ・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護保険制度の目的と意義（わが国の社会保障、社会保険制度と社会福祉制度、介護保険制度の創設と経緯等）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第2回	日本と世界の介護保険制度	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第3回	介護保険制度の状況と改正経過	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第4回	保険者と被保険者と保険給付	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第5回	介護サービス利用、介護報酬、	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第6回	一部負担（自己負担、高額介護サービス費等）、介護サービス（在宅・居住系・施設）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第7回	介護サービス（在宅・居住系・施設）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第8回	日本の介護福祉福祉政策の課題	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分

授業科目名	医療・福祉とICT			科目コード	W131-11				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野	担当教員名	吉牟田 裕						
実務経験									
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)	日本語文書処理演習	後継科目	日本語文書処理演習						
関連科目									
資格等 取得との関連	上級ビジネス実務士() ビジネス実務士() 上級情報処理士() 情報処理士() 日商PC検定(文書作成)2級試験								
授業の概要	効果的なビジネス文書について学ぶ。前期での実践的な技能をさらにスキルアップするとともに、企業でのITを利活用できるように応用力を養う。なお、日商PC検定文書作成3級を目指す。								
学習目標	適切なビジネス文書を適切に発信していく技術は、ビジネスパーソンにとって必須であることを理解するとともに、情報を正確に伝える・記録として残すのに必要な文書作成の基本的知識・技術の習得を目標とする。								
キーワード	word、文章作成・編集、表作成、図作成、クリップアート、ワードアート、スマートアート								
テキスト・ 参考書等	よくわかるマスター 日商PC検定試験 文書作成 3級 公式テキスト&問題集 Word 2019/2016対応 (FOM出版)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	Word2016を利用し、目的にあった文書作成と高品質なデザインのビジネス文書作成ができる。								
LO-2									
LO-3	Wordを用いた基本的なビジネス文書を作成することができる。								
LO-4	積極的な学習態度がみられ、予習・復習をしっかりと行うことができる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100							100	
LO-1	80							80	
LO-2									
LO-3	10							10	
LO-4	10							10	
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	日商PC3級 文書作成とはどんな試験か ノートパソコンに関する調査	
	【予習】教科書付録「日商PC検定試験の概要」を読んでおく	20分
	【復習】教科書の「日商PC検定試験の概要」を読む	25分
第2回	ビジネス文書 文書の有用性/ビジネス文書の基本/社内文書 基本的なビジネス文書の作成	
	【予習】教科書の該当部分について復習する。 学習ファイルのアーカイブ fpt1509.zip をダウンロードし、解凍しておく。	20分
	【復習】教科書の該当部分について復習する。	25分
第3回	ビジネス文書 - 社外文書 基本的なビジネス文書の作成 - 作成する文書の確認 / 文章の入力	
	【予習】教科書第1章 社外文書の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第4回	学習ファイル(fpt2010.zip)ダウンロード ビジネス文書のライティング技術 - 日本語の基本 基本的なビジネス文書の作成 - 文書の編集 / 文字の配置 / 文字の装飾 / 文書の保存	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第5回	ビジネス文書のライティング技術 - 文章表現の基本 基本的なビジネス文書の作成 - 確認問題	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第6回	ビジネス文書のライティング技術 - 文章表現の応用 / 文章構成 表のあるビジネス文書の作成 - 表の作成 / 表のレイアウトの変更 / 表の書式設定	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第7回	ビジネス文書のライティング技術 - 敬語 / 確認問題(P.79) ビジネス文書 - 確認問題(P.79) 表のあるビジネス文書の作成 - 確認問題	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】表のあるビジネス文書の作成 - 確認問題	25分
第8回	表のあるビジネス文書の作成 - 確認問題(解説) 電子メールのライティング技術 - 電子メールの基本 / 文例とポイント / 確認問題 図形のあるビジネス文書の作成	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第9回	ビジネス図解の基本 - 図解とは / 図解の基本パターン / 図解の作成方法 / グラフの利用 / 確認問題 図形のあるビジネス文書の作成 確認問題	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第10回	ビジネス文書の管理 - 文書管理の基本 / 文書のライフサイクルと各プロセスの役割 / 確認問題 模擬試験第1回 実技科目	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分

第11回	模擬試験第1回 知識科目 模擬試験第2回 実技科目	
	【予習】第1章から第8章までを見直す	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第12回	模擬試験第2回 知識科目 模擬試験第3回 実技科目	
	【予習】第1章から第8章までを見直す	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第13回	模擬試験第3回 知識科目 日商PC模擬試験（実技） 必要ならダウンロード: 商工会議所 ネット試験システム.exe	
	【予習】第1章から第8章までを見直す	20分
	【復習】模擬試験の復習	25分
第14回	日商PC模擬試験（実技）	
	【予習】第1章から第8章までを見直す	20分
	【復習】模擬試験の復習	25分
第15回	日商PC検定試験 文書作成3級解説	
	【予習】第1章から第8章・模擬試験1～3までを見直す	20分
	【復習】試験結果の反省	25分

授業科目名	富山型福祉特別講義			科目コード	W131-13				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	学内の教員や学園内の教員の他外部の非常勤講師を交えたオムニバス形式でおこないます。								
学習目標	社会福祉業界を幅広く捉え、社会福祉業界を俯瞰して見れる視野を身に付けると共に今後のキャリア形成時の参考とする。								
キーワード	富山型福祉								
テキスト・ 参考書等	資料配布								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	福祉・介護を学ぶ者として富山型福祉及び富山型福祉に関する基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	福祉・介護を学ぶ者として富山型福祉及び富山型福祉に求められる基礎的な技能を身につけている。								
LO-3	福祉・介護を学ぶ者として富山型福祉及び富山型福祉に関する有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	福祉・介護を学ぶ者として富山型福祉及び富山型福祉においてその動向に関心を向けることができる。福祉ビジネスの視点より人の幸せについて主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種・性別・障害等の有無にかかわらずすべての人を受容し共感できる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75					25			100
LO-1	15					5			20
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。 ・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーションならびに、富山県で特色ある取組事例の理解を深める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第2回	オリエンテーションならびに、富山県で特色ある取組事例の理解を深め、創造性を高める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第3回	富山県で特色ある取組事例の理解を深め、創造力を高める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第4回	富山県からスタートした「富山型デイサービス」について学び創造力を高める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第5回	富山県からスタートした「富山型デイサービス」について学び創造力を高める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第6回	富山県からスタートした「富山型デイサービス」について学び創造力を高める。	
	【予習】富山県内及び富山県外の富山型の施設について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第7回	富山県内の特色ある法人の取組みを理解し、ビジネスにおける創造性も高める。	
	【予習】福祉ビジネスに挑戦している企業を調査してくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第8回	富山県内の特色ある法人の取組みを理解し、ビジネスにおける創造性も高める。	
	【予習】福祉ビジネスに挑戦している企業を調査してくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分

授業科目名	介護福祉経営論			科目コード	W131-14				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野	担当教員名	小平 達夫						
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	2年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目							
関連科目	福祉ビジネス、介護事務概論、医療事務概論								
資格等 取得との関連	介護福祉経営士2級								
授業の概要	安定した介護福祉事業経営を実現し、より良質な介護福祉サービスを提供すること、さらに介護保険だけではカバーできない地域ニーズに対応する新しいサービスを開発するなど、介護福祉を基盤とした改革を進めるために、「介護福祉経営士」の合格を目指すものである。								
学習目標	介護福祉経営に関して法制度、財務会計、リスクマネジメント、コンプライアンス、人材育成など多岐にわたる知識が必要となすが、その基本的知識を修得する。								
キーワード	・医療の理解、高齢者の医療と健康、実施指導、監査、多様化するサービス、保険外収入等								
テキスト・ 参考書等	介護福祉経営士入門研修テキストはじめて学ぶ介護福祉のマネジメント 介護福祉経営士テキスト3（基礎編）介護福祉産業論								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護福祉経営士として介護福祉士経営に関する基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	介護福祉経営士として介護福祉士経営に求められる基礎的な技能を身につけている。								
LO-3	介護福祉経営士として介護福祉士経営に関する有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	介護福祉経営士として介護福祉士経営においてその動向に関心を向けることができる。福祉ビジネスの視点より人の幸せについて主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種・性別・障害等の有無にかかわらずすべての人を受容し共感できる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75					25			100
LO-1	15					5			20
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。 ・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護サービスと民営化が導いた「経営」	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第2回	高齢化の進展と拡大する介護サービス市場	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第3回	サービス供給主体の多様性	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第4回	特別養護老人ホームの経営課題	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第5回	特別養護老人ホームの経営課題	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第6回	有料老人ホームの経営	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第7回	小規模介護事業とその経営	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第8回	地域密着型サービスの課題	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第9回	地方の介護事業所の状況	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第10回	介護産業の見通しと経営	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分

第11回	多様化するビジネスモデル	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第12回	多様化するビジネスモデル	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第13回	多様化するビジネスモデル	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第14回	まとめと振り返り	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第15回	まとめと振り返り	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分

授業科目名	医療事務概論			科目コード	W131-40				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野	担当教員名	小平 達夫						
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	2年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目	医療事務演習						
関連科目	インターンシップ、福祉ビジネス、介護福祉経営論								
資格等 取得との関連	メディカルクラーク 介護福祉経営士								
授業の概要	我が国及び世界における医療の歩みを理解し、医療の目的及び健康状態の維持・増進について理解を深める。そして、医療組織の中で働く意義、役割を理解し、医療者に必要とされる責務と倫理、医療に関する法規、規則、感染症等のガイドラインの基礎知識を習得する。								
学習目標	患者接遇マナーの理解 医療保険制度の基礎知識の習得 後期高齢者医療制度と診療報酬の理解 健康保険法による保険給付の種類と内容医療機関の分類の理解								
キーワード	医療保険制度 医療マネジメント 患者対応 等								
テキスト・ 参考書等	医療事務講座								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医療保険制度、レセプトコンプライアンス、医療マネジメント、レセプトマネジメントの基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	患者接遇の基本が身につけている。(窓口対応、電話対応)								
LO-3	医療チームの一員として、医療経営の視点から診療報酬について考えることができる。								
LO-4	医療業界の動向に関心を向けることができる。								
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75					25			100
LO-1	15					5			20
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・その他Aは、平常点(授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート)より評価します。 ・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション ・ 医療事務技能審査試験の概要について ・ 医療業界について ・ 医療、介護の連携について	
	【予習】「医療事務講座」テキストを読んで、分からない用語を事前に調べて、理解しておくこと。	90分
	【復習】医療業界についての理解を深める。	90分
第2回	患者接遇マナー ・ 患者接遇の基本・患者受付の対応・医療人として守るべきこと・職場のコミュニケーション	
	【予習】「医療事務講座」テキストにて該当箇所を事前に読んでくること。	90分
	【復習】患者接遇マナー ・ 患者接遇の基本・患者受付の対応・医療人として守るべきこと・職場のコミュニケーションについて理解をする。	90分
第3回	医療保険制度の基礎知識 ・ 保険診療とは・医療機関と医療事務・医療保険制度・医療保険の種類	
	【予習】テキストにおいて該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分
第4回	後期高齢者医療制度と診療報酬 ・ 医療保険の種類 ・ 後期高齢者医療制度・公費制度・介護保険制度	
	【予習】テキストにおいて該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分
第5回	健康保険法による保険給付の種類と内容医療機関の分類 ・ 現物給付と現金給付・病床による分類 ・ 機能による分類等・富山の医療	
	【予習】テキストにおいて該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分
第6回	電子カルテシステム・保険外併用療養費とDPC制度 ・ 医療情報とIT化と電子カルテ・電子カルテシステム等・評価療養、患者申出療養、選定療養・DPC制度について・その他に公費と労災等	
	【予習】テキストにおいて該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分
第7回	医療のあらましと医療に関連する法規 ・ 国民生活と社会保障・日本における医療の歴史・医療法規の概要、医療法、医療従事者に関する法規等	
	【予習】テキストにおいて該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分
第8回	まとめと振り返り ・ 介護福祉経営士資格について	
	【予習】これまでの授業で理解できなかった箇所を把握する。	90分
	【復習】介護福祉経営士資格の重要性について理解する。	90分

授業科目名	医療事務演習			科目コード	W131-41				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野	担当教員名	小野 淳一 小平 達夫						
実務経験									
開講時期	2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	インターシップ	後継科目							
関連科目	医療事務概論								
資格等 取得との関連	医療事務技能審査試験								
授業の概要	診療報酬請求の仕組みと算定方法を基礎から学習し、カルテの読み方・診療報酬明細書（レセプト）の書き方、制度の理解とその運用について習得を図る。								
学習目標	基本診療料と特掲診療料からなる診療報酬点数表を説明できるようにする。 カルテの記載事項を把握できるようにする。 カルテから診療報酬明細書（レセプト）が作成できるようにする。								
キーワード	医療事務、レセプト、診療報酬（加算・減算含む）								
テキスト・ 参考書等	1 医療事務講座（医療保険制度）、2 医療事務講座（患者接遇マナー）、3 医療事務講座（診療報酬点数算定）、4 医療事務講座（診療報酬明細書）、医療事務講座（慣用点数早見表、記載要領等）診療報酬点数表								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医療事務に必要な診療報酬の知識を身につけている。								
LO-2	窓口対応に必要な接遇や診療報酬請求業務に必要な技術を身につけている。								
LO-3	医療チームの一員として、医療経営の視点から診療報酬について考える力を身につけている。								
LO-4	医療業界の動向に関心を向け、主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75					25			100
LO-1	15					5			20
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・その他Aは、平常点（授業中の発言、授業態度、授業終了後のアンケート）より評価します。 ・全体的に理解度が低い場合、解説を行う。 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	診療報酬請求業務 医科診療報酬に係る事項（出来高・DPC制度）	
	【予習】診療報酬請求業務 について理解を深めてくる。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第2回	医学一般（1）各器官系の名称・構造・機能（2）人体解剖と病理（3）疾病の原因と治療	
	【予習】こことからだのしくみ のテキストを読んでくる。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第3回	薬学一般（1）医薬品の種類と薬効分類	
	【予習】医薬品の種類と薬効分類について理解を深めてくる。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第4回	診療録（1）医科医療用語・略語（2）その他カルテ解読に必要な事項（3）電子カルテシステム	
	【予習】どのような医療用語があるのかを事前に確認してくる。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第5回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第6回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第7回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第8回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第9回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第10回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分

第11回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第12回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第13回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第14回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第15回	診療報酬請求業務 医科診療報酬明細（出来高請求）の点検	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分

授業科目名	介護福祉総合演習			科目コード	W141-30				
科目区分	専門科目 - キャリア支援		担当教員名	吉牟田 裕 井上 理絵					
実務経験	特別養護老人ホーム・デイサービスでの勤務経験と、介護福祉士試験委員・介護実技講習会主任指導者としての実績を基に、介護福祉士として必要な知識と技術を、理解しやすく、実践的な技術習得につながる授業を展開する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	介護福祉士指定科目の全て		後継科目	介護福祉総合演習					
関連科目	介護福祉士指定科目の全て								
資格等 取得との関連	介護福祉士								
授業の概要	「人間と社会」「こころとからだのしくみ」「介護」の3領域を専門分野の専任教員が講義や試験を通して学びを深めていきます。模擬試験(基礎編・実力編)を段階的に行い、修得度を確認し、個別の指導を受け学習します。								
学習目標	介護福祉士に必要な3領域(人間と社会・こころとからだのしくみ・介護)の専門知識を習得し、卒業時共通試験に合格できる。								
キーワード	卒業時共通試験、人間と社会の領域、こころとからだのしくみ領域、介護領域、基本知識								
テキスト・ 参考書等	各科目で使用したテキスト、配布資料、模擬問題集またはワークブック								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	3領域(人間と社会・こころとからだのしくみ・介護)の科目における知識・技術の基本を確認し、一つひとつの理由や根拠に基づいて理解していくことができる。								
LO-2									
LO-3	具体的な事例を基にした応用問題に正解することができる。								
LO-4	授業で行う練習試験、模擬試験では日ごろの成果を発揮し、合格点が取得できる。								
LO-5	友人間でお互いの学習内容を確認し合い、相互に学習意欲を向上させていくことができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70	30							100
LO-1	40	10							50
LO-2									
LO-3	10	10							20
LO-4	10	10							20
LO-5	10								10
備考	毎回の小テスト、模擬試験、で習熟度でグループ編成し、授業をします。成績は、期末試験・毎回の小テスト・模擬試験で評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	本科目に関するガイダンス 前期のすすみ方、自己の学習の仕方、模擬試験について説明 2回の実力試験範囲分かる	
	【予習】本シラバスを読み講義の概要・目的を抑え、科目の進み方が分かる	90分
	【復習】次回の実力試験に向けて 理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
第2回	実力試験 1 回目 1 年次に学習した範囲の課題に取り組む	
	【予習】実力試験に向けて 試験御範囲で理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】実力試験 1 回目で、間違えた箇所を調べ重要なポイントをプリントに記述する。	90分
第3回	実力試験 2 回目 1 年次に学習した範囲の課題に取り組む	
	【予習】実力試験に向けて 試験御範囲で理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】実力試験 2 回目で、間違えた箇所を調べ重要なポイントをプリントに記述できる	90分
第4回	領域人間と社会：人間の尊厳と自立 人間関係とコミュニケーション・人間としての尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について理解できる。	
	【予習】社会福祉士及び介護福祉士法 社会福祉士法 人権に関する法律等理解不足のところ、苦手なところをテキスト・資料で振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第5回	領域介護：介護の基本 介護の歴史、介護問題の背景、介護福祉士の役割と機能、尊厳を支える介護、介護を必要とする人の理解、介護サービスについて理解できる。	
	【予習】介護の歴史、介護問題の背景、介護福祉士の役割と機能、尊厳を支える介護、介護を必要とする人の理解、介護サービスについて理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述する	90分
第6回	領域介護：生活支援技術 利用者の個性を理解しなぜその技術が必要なのか理解する。自立に向けたみじたく・移動・食事・入浴・清潔・排泄・睡眠の介護について理解する。	
	【予習】自立に向けたみじたく・移動・入浴・清潔・排泄・睡眠の介護について理解不足のところをテキストで、振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく。確実に点数を取得できるよう基本と実習における実際の場で統合できるよう整理できる	90分
第7回	領域介護：生活支援技術 利用者の個性を理解しなぜその技術が必要なのか理解する。自立に向けた住居環境・家事援助について理解する。	
	【予習】自立に向けた住居環境・家事援助において基本的な理論と知識を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見て振り返る。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく。確実に点数を取得できるよう基本と実習における実際の場で統合できるよう整理できる	90分
第8回	領域介護：介護過程 介護過程の意義と目的、情報集とアセスメント、介護過程の展開、チームアプローチについて必要な知識を理解する。	
	【予習】介護過程の意義と目的、アセスメントの定義と方法、情報収集の方法と解釈、介護過程の展開、評価について基本的な理論と知識を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見て振り返る。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	90分
第9回	領域：こころとからだのしくみ 人体を構成している各組織や器官の構造を理解する。生体の機能を維持していくために、各器官が、どのように働いているか理解する。	
	【予習】人体の構造と機能について医学一般の授業で使用したテキスト・授業時のノートから振り返る。理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	90分
第10回	領域：こころとからだのしくみ 人体の構造や機能と生活行為がどのように運動しているか理解する。生活行為・動作に関する基本的な知識を知り、生活支援技術に關ず仕組みを理解する。	
	【予習】人体のしくみから様々な生活行為を関連させておく。姿勢・移動動作、入浴・清潔動作、身支度の動作、食神関する動作、睡眠などの基本的な知識を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見る。また、理解不足のところや苦手なところをテキスト・資料で振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述できる	90分

第11回	領域：人間と社会 社会の理解 介護保険制度、社会保障制度のしくみ、個人を守る制度、障害者総合支援法など制度のしくみとサービスの内容等社会福祉の基本的な部分を理解する。	
	【予習】社会福祉の歴史、介護保険制度のしくみ、障害者自立支援、総合支援法のしくみ、日本の社会保障制度等理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	90分
第12回	領域：こころとからだのしくみ 認知症の理解 認知症を取り巻く状況、医学的側面からの認知症（中核症状・BPSD・周辺症状）、認知症ケアについて正しく理解する。	
	【予習】認知症の原因疾患の症状・特徴、認知症による障害を正しく理解できるようテキスト・配布資料を見て振り返る。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述していく	90分
第13回	領域：こころとからだのしくみ 障害の理解と発達と老化のしくみ 障害の概念 障害者福祉の基本理念、障害の医学的側面を含めた基礎的な知識を理解する。人の成長・発達について理解する。高齢者に多い疾患と症状の現れ方について分かる。老化について生活への影響を、心理的・社会的・生理的側面からとらえ基礎的な知識を理解する。	
	【予習】障害者福祉法、ノーマライゼーションの意義・歴史的経緯、障害の医学的側面御基礎的知識（身体機能意障害・内部障害・視覚聴覚障害・言語障害）、障害者の心理的側面等理解不足のところ、苦手なところをテキスト・配布資料を見て振り返る。発達課題、老化のメカニズム等テキストや資料で振り返る。	90分
	【復習】本時の練習問題で、誤った問題をテキストから調べ重要ポイントを記述できる	90分
第14回	前期外部模擬試験（基礎編）実施	
	【予習】試験前までに学習した範囲をまとめておく。毎授業時の練習問題を見直し、誤って回答したところについて調べたポイントを特に重要視する。試験まで、計画的に学習時間を設け確実に合格点（72点）が取得できるよう取り組む。	90分
	【復習】自己の回答で、誤った回答の問題について解説書から正しい解答を記述し、テキスト・練習問題から調べたことを空欄に記述できる。自己の苦手な問題傾向を認識し、後期の学習への目標にできる	90分
第15回	前期外部模擬試験（基礎編）実施	
	【予習】試験前までに学習した範囲をまとめておく。毎授業時の練習問題を見直し、誤って回答したところについて調べたポイントを特に重要視する。試験まで、計画的に学習時間を設け確実に合格点（72点）が取得できるよう取り組む。	90分
	【復習】自己の回答で、誤った回答の問題について解説書から正しい解答を記述し、テキスト・練習問題から調べたことを空欄に記述できる。自己の苦手な問題傾向を認識し、後期の学習への目標にできる	90分

授業科目名	総合的研究			科目コード	W151-10				
科目区分	専門科目 - 総合支援 - 研究		担当教員名	吉牟田 裕 関 好博					
実務経験									
開講時期	1年後期・2年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連	短期大学士（介護福祉学）								
授業の概要	社会福祉、介護福祉および生活福祉についての2年間の学習の中で、各自が触発されたテーマについて、より深く掘り下げた主体的調査研究としておこなうものです。各テーマの専門ごとに専任教員全員が分担して、個別的・継続的に指導し、研究成果をレポートにまとめ、報告会で発表します。								
学習目標	介護福祉専門職として必要な研究態度や自己研鑽・自己啓発の能力を養うこと目的としています。また、高齢者や障害者の介護や、介護福祉士としてのあり方について理解を深めてもらうことを目標としています。								
キーワード	主体的、調査、社会福祉、介護福祉、生活福祉								
テキスト・ 参考書等	総合的研究報告集バックナンバー(学内専用)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人間の多様な価値観、社会のしくみ、文化を理解し、幅広い教養を習得している。また、社会概念の基礎を理解し、介護実践に必要な専門的知識を習得している。								
LO-2	論文作成・研究発表において、的確に記録・記述することができる方法を身につけている。								
LO-3	福祉分野の諸課題を発見し、研究方法を用いて考察することができる。								
LO-4	社会的状況や福祉の動向などに関心を持ち、自己研鑽・自己啓発能力を身につけている。また、専門職に必要な倫理観に関心をもつことができる。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている。また、円滑なコミュニケーションの取り方の基本を身につけ、他者と協調、協働して行動することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)				80	10	10			100
LO-1				20					20
LO-2				10	10				20
LO-3				20					20
LO-4				20					20
LO-5				10		10			20
備考	その他Aは、研究を進める際の研究グループ内での協調・協働を評価する								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	全体オリエンテーション(科目の概要説明、グループ分け)	
	【予習】なし	0分
	【復習】前年度総合的研究報告集の熟読(1)	45分
第2回	分野別オリエンテーション(授業の年間計画の説明、グループ分けの再確認)	
	【予習】前年度総合的研究報告集の熟読(2)	45分
	【復習】前年度総合的研究報告集の熟読(3)	45分
第3回	研究テーマの確定1(分野ごとに希望研究テーマの内容を確認)	
	【予習】研究テーマを考える	45分
	【復習】研究テーマを考える	30分
第4回	研究テーマの確定2(リーダー、サブリーダー選出、研究テーマとグループを確定)	
	【予習】前年度総合的研究報告集の熟読(4) 研究テーマの深化	45分
	【復習】研究の動機、目的をまとめる	30分
第5回	研究テーマの確定3(研究テーマとグループの全体調整)	
	【予習】研究の動機、目的をまとめる	30分
	【復習】研究計画の立案準備	45分
第6回	調査研究の方法1(調査方法及びレポート構成の指導・講義)	
	【予習】研究手法について予習する	30分
	【復習】調査方法及びレポート構成を理解する	45分
第7回	調査研究の方法2(グループ別文献検索指導)	
	【予習】文献検索するキーワードについて予習する	30分
	【復習】文献検索の方法に習熟する	45分
第8回	研究計画の立案1(先行研究の調査、文献検索)	
	【予習】研究計画を構想する1	30分
	【復習】研究計画の作成1	45分
第9回	研究計画の立案2(先行研究の調査、文献検索)	
	【予習】研究計画を構想する2	30分
	【復習】研究計画の作成2	45分
第10回	調査の準備と実施1(調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】前回の調査の振り返りと、報告まとめ	30分
	【復習】調査の準備または実施	45分

第11回	調査の準備と実施2(調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】前回の調査の振り返りと、報告まとめ	30分
	【復習】調査の準備または実施	45分
第12回	調査の準備と実施3(調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】前回の調査の振り返りと、報告まとめ	30分
	【復習】調査の準備または実施	45分
第13回	中間まとめの準備1(中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】前回の調査の振り返りと、報告まとめ	30分
	【復習】ポスター作製	45分
第14回	中間まとめの準備2(中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】前回の調査の振り返りと、報告まとめ	30分
	【復習】ポスター作製	45分
第15回	中間まとめの準備3(中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】中間まとめの資料作成	45分
	【復習】中間まとめの資料作成	30分
第16回	中間まとめ	
	【予習】中間まとめの資料作成	45分
	【復習】中間まとめの資料作成	30分
第17回	中間発表の準備1(調査結果の整理と考察)	
	【予習】調査結果の整理	30分
	【復習】調査結果の整理と考察	45分
第18回	中間発表の準備2(調査結果の整理と考察)	
	【予習】調査結果の整理	30分
	【復習】調査結果の整理と考察	45分
第19回	中間発表の準備3(調査結果の整理と考察)	
	【予習】調査結果の整理	30分
	【復習】調査結果の整理と考察	45分
第20回	結果の整理と考察(調査結果の整理と考察、追加調査の実施など)	
	【予習】調査結果の整理と考察、追加調査の実施など	30分
	【復習】調査結果の整理と考察、追加調査の実施など	45分

第21回	記録集の作成 (作成準備ならびに執筆開始)	
	【予習】記録集作成準備ならびに執筆	30分
	【復習】記録集作成準備ならびに執筆	45分
第22回	原稿提出 (完成原稿とデータを提出)	
	【予習】記録集作成準備ならびに執筆	45分
	【復習】記録集作成準備ならびに執筆	30分
第23回	原稿の校正1	
	【予習】1校の校正	30分
	【復習】1校の完了	45分
第24回	原稿の校正2	
	【予習】2校の校正	30分
	【復習】2校の完了	45分
第25回	原稿の校正3	
	【予習】3校の校正	30分
	【復習】3校の完了	45分
第26回	原稿の校正4	
	【予習】4校の校正	30分
	【復習】4校の完了	45分
第27回	発表会の準備1 (発表原稿の準備、使用機材の確認)	
	【予習】発表原稿の準備	30分
	【復習】発表の練習	45分
第28回	発表会の準備2 (発表原稿の準備、使用機材の確認)	
	【予習】発表の練習	30分
	【復習】発表の練習	45分
第29回	発表会リハーサル	
	【予習】発表の練習	30分
	【復習】リハーサルの総括、発表原稿などの改善	30分
第30回	発表会(口頭発表)	
	【予習】発表の練習	45分
	【復習】発表の振り返り	30分

授業科目名	アクティビティ概論			科目コード	W511-30				
科目区分	教養科目 - 健康		担当教員名	小椋 一也					
実務経験	地域密着型通所介護施設による半日型・機能訓練特化型通所介護施設に5年間勤務した実務経験を通し、介護福祉士として従事する者に関わる運動・健康・レクリエーション・アクティビティの分野について基礎から応用まで解説する。								
開講時期	2年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	健康福祉論 健康と運動 健康スポーツ		後継科目	無し					
関連科目	介護福祉論 介護福祉論 生活支援技術 生活支援技術 介護過程 ころとからだのしくみ								
資格等 取得との関連	アクティビティ・ワーカー								
授業の概要	ここでいうアクティビティとは対象者(利用者)の方々の心身・生活の活性化と捉える。さらにアクティビティ・サービスとは、その視点に立ち、そのためのすべてのサービスを考え提供(支援)することになる。ここではアクティビティ・サービス論として必要な基礎理論を学習する。								
学習目標	(1)アクティビティ・サービスの基礎理論を学ぶ。 (2)アクティビティ・サービスにおける援助の概況を学ぶ。								
キーワード	アクティビティ 心身/生活の活性化 心地よさ 生きがい 日常生活								
テキスト・ 参考書等	適宜資料を配布予定								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】アクティビティ・サービスの基礎的な理論・援助論について理解し、正しく答えられる。								
LO-2	【技能】対象者(利用者)のニーズを踏まえ、個別性に留意した取り組みができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】対象者(利用者)のアクティビティ・サービスにおけるニーズを把握し、対応を考えることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】対象者(利用者)に関心をもち、自分自身も適正なアクティビティに努めている。								
LO-5	【人間性・社会性】グループのメンバーと協調性を育み、不得意とする他者へのサポートができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						30			30
LO-2						15			15
LO-3						15			15
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	アクティビティ・サービスとは -レクからアクティビティ・サービスへの成り立ち	
	【予習】シラバスを読んでおく	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第2回	レクからアクティビティ・サービス -快/心身の活性化	
	【予習】次回(2回目)に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第3回	アクティビティ・サービスの身近な素材とアレンジ	
	【予習】前回の配布資料、関連文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第4回	アクティビティ・サービスの期待される効果	
	【予習】配布資料、関連文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第5回	対象と必要なコミュニケーション 生活支援学とアクティビティ・サービス	
	【予習】配布資料、関連文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第6回	生活支援学の成り立ち - 価値、健康、尊厳 -	
	【予習】配布資料、関連文献を読んでおく。	90分
	【復習】抄読した資料の読み返し、ノートしたところを振り返る。	90分
第7回	実習生から見たアクティビティ・サービス	
	【予習】各実習におけるアクティビティサービスのメモ類を整理し、まとめておく	90分
	【復習】ノートしたところを振り返る。	90分
第8回	求められるアクティビティ・サービス - 数年間の系譜より -	
	【予習】関連する文献資料を読んでおく	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第9回	アクティビティ導入の黎明史	
	【予習】次回に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第10回	ASの計画/基本的考え方 個別アクティビティの概要	
	【予習】次回に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分

第11回	集団アクティビティの概要 AWに求められる姿勢/5H(1)	
	【予習】次回に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第12回	AWに求められる姿勢/5H(2) Aプログラムの留意点(1)	
	【予習】次回に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第13回	リスクマネジメント、Aプログラムの9要素	
	【予習】次回に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第14回	Aプログラム立案の基本項目	
	【予習】次回に関連する文献を読んでおく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分
第15回	ASの事例から評価を学ぶ	
	【予習】今までの配布資料、ノートしたところを整理しておく。	90分
	【復習】配布資料、ノートしたところを振り返る。	90分

授業科目名	人間の尊厳と自立			科目コード	W521-10				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	吉牟田 裕 関 好博					
実務経験									
開講時期	2年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	コミュニケーション論、生活と社会		後継科目	なし					
関連科目	社会保障								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	「人間」の理解を基礎として、人間としての尊厳の保持と自立・自律した生活を支える必要性について共に考え、介護場面における倫理的課題に対応できるための基礎を学びます。具体的には、人間の生と死をめぐる多様な倫理問題に関する近年の動向を検討し、複雑な現代社会で「善く生きる」(納得のいく人生を歩む)ための心得を学習します。そうした学習を通じて、「人生という物語」に対する共感的な理解の能力を高めながら、福祉・介護関連の仕事に携わることの責任を自覚し								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の尊厳と自立・自律の意義を理解する。 2. 人権の歴史や基本的人権の概念を理解する。 3. 多様な価値観・人生観を理解し、寛容の精神を培う。 4. 介護場面における倫理的課題を理解する。 								
キーワード	人間の尊厳、基本的人権、自立・自律、権利擁護、認知症、尊厳死・安楽死、児童虐待、発達障害								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会(編集)『人間の理解(最新介護福祉士養成講座1)』(中央法規出版、2019)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	教科書に出てきた専門用語や授業中に補足説明した関連事項を正確に整理し、基礎知識を体系的に獲得している。								
LO-2	人間の尊厳、自立、人権の概念の歴史、意味、意義に関する知識を有する。								
LO-3	人間の多様な価値観、文化を理解し、寛容の精神を培い、介護場面における倫理的課題を解決できる判断力を有する。								
LO-4	様々な人権問題に関心をもち、積極的に授業に臨む姿勢を有する。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って行動するケアリングの姿勢を身につけている。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	成果発表については、ケーススタディ(教材ドラマを用いたグループワーク)の取り組み姿勢、ミニッツペーパー(講義内容に関する個別のコメント)の記述内容、以上の2点に基づいて評価を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	イントロダクション 国家資格「介護福祉士」試験における「人間の尊厳と自立」問題	
	【予習】Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
第2回	人間の尊厳と人権・福祉理念(1) 人間の尊厳と利用者主体	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
第3回	人間の尊厳と人権・福祉理念(2) 人権思想の潮流とその具現化	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
第4回	人間の尊厳と人権・福祉理念(3) 人権や尊厳に関する日本の諸規定	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
第5回	人間の尊厳と人権・福祉理念(4) 人権や尊厳に関する日本の諸規定	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
第6回	人間の尊厳と人権・福祉理念(5) 社会福祉領域での人権・福祉理念変遷－人は人をどう援助しようとしてきたか	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
第7回	人間の尊厳と人権・福祉理念(6) 社会福祉領域での人権・福祉理念変遷－人は人をどう援助しようとしてきたか	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
第8回	人間の尊厳と人権・福祉理念(7) 社会福祉領域での人権・福祉理念変遷－戦後の新たな福祉のあり方への模索	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
第9回	人間の尊厳と人権・福祉理念(8) 社会福祉領域での人権・福祉理念変遷－戦後の新たな福祉のあり方への模索	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web検索により関連事項について調べる。	90分
第10回	人間の尊厳と人権・福祉理念(9) 人権尊重と権利擁護	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web検索により関連事項について調べる。	90分

第11回	人間の尊厳と人権・福祉理念(9) 人権尊重と権利擁護	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
第12回	自立のあり方(1) 自律の概念の多様性	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
第13回	自立のあり方(2) 自立とは	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
第14回	自立のあり方(3) 介護を必要とする人々の自立と自立支援	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
第15回	自立のあり方(4) 介護を必要とする人の尊厳の保持と自立、自立支援の関係性	
	【予習】教科書の該当部分を熟読しておく。Web 検索により関連事項について調べる。	90分
	【復習】講義資料のポイントを整理する。Web 検索により関連事項について調べる。	90分